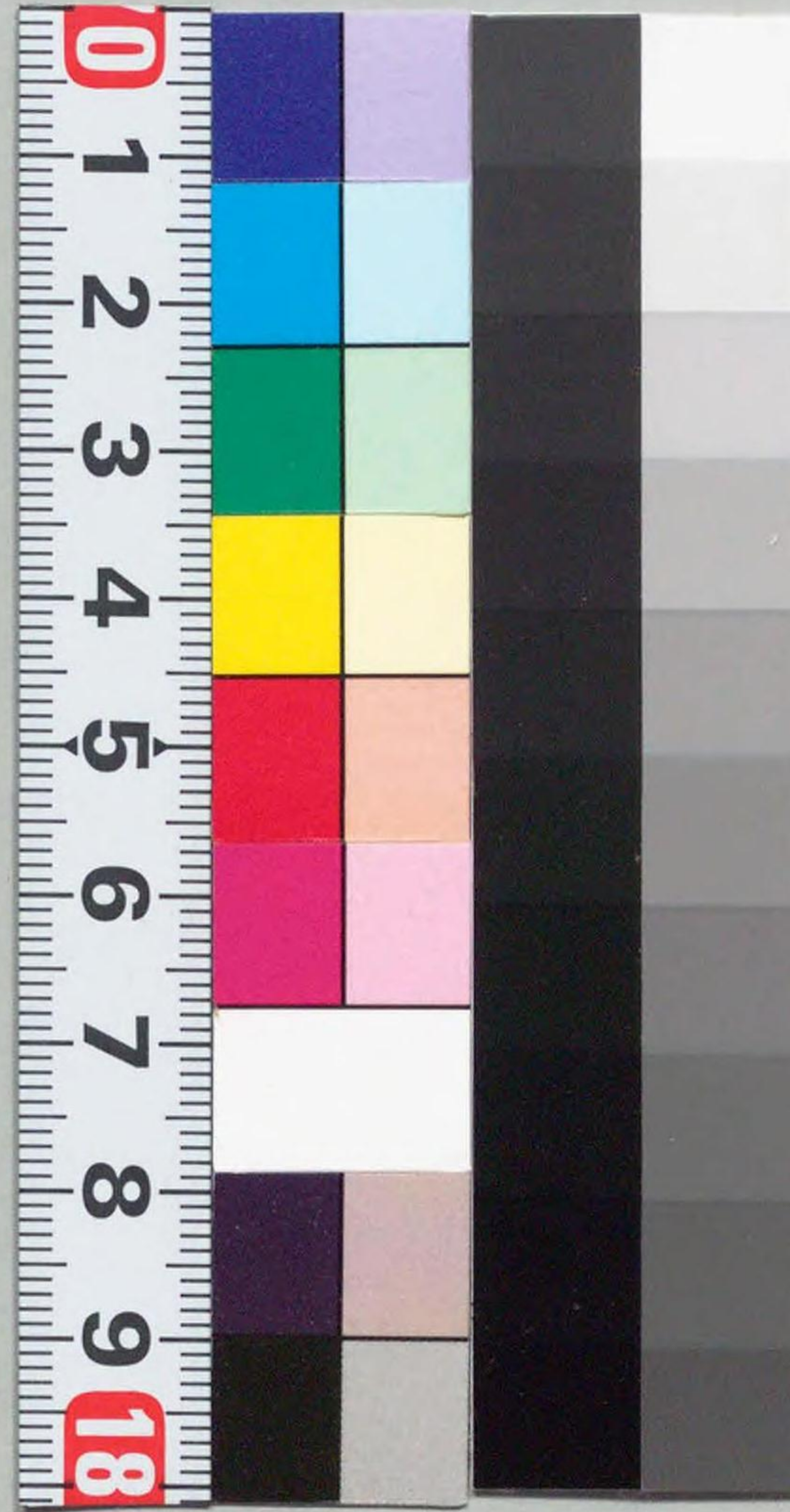


CZ-431-H32



\*1200501636849\*

昭 9  
A  
1360



昭和9年2月 日

農林省  
贈

農會關係法規

農林省農務局

昭和六年三月

昭9  
A  
1360

昭9

A

1360

CZ-431-H32



I 種

W



\*1200501636849\*

735171

凡 例

本書ハ大正十二年新農會法實施以後ニ於ケル農會ニ關スル法規、通牒等ヲ蒐輯摘録セ  
ルモノニシテ附録農會總代選舉ニ關スル參考資料ハ昭和二年及同六年農會總代改選ニ  
際シ二三府縣ニ於テ指示セルモノヲ基礎トシテ作製セルモノナリ

例 凡

67-431-332

—

類々二三種録ニ於テ指示スルモノハ其ノ中ニ於テモ  
以テノ一ニモ同義語會社ノ組織ニ關スルモノモ亦  
本書ハ六五十二平議會社實錄以テ之ルモノモ亦  
同義語會社實錄ニ關スルモノモ亦

目次

一 農會法……………一頁

一 農會法施行期日ノ勅令……………一五

一 農會法第三十條ノ規定ニ依ル異議ノ申立、訴願及  
行政訴訟ニ關スル勅令……………一六

一 農會法施行規則……………二〇

一 農會ノ收支豫算書、收支決算書及會員名簿ノ様式……………三三

一 農會法施行規則附則第三項ニ依ル農事ニ關スル報告書様式……………四六

一 模範會則……………五一

一 (イ) 道(府、縣、郡)農會會則……………五一

目次

(ロ) 市町村農會會則……………六〇

一 農會法新法實施方ニ付通牒(次官通牒)……………七二

一 農會法施行ニ關スル注意事項……………七五

一 農會法施行規則中改正ニ關スル通牒……………八一

一 帝國農政協會等ニ關スル通牒……………八二

一 市町村農會總代及農會役員、議員選任其ノ他ノ件  
ニ關スル通牒……………八三

一 農會ノ役員、議員、總代選任其ノ他ニ關スル通牒……………八六

一 農會職員退職死亡等給與金ニ關スル通牒……………八八

一 農會ノ財産管理ニ關スル通牒……………八九

一 農會ノ歳入歳出外現金ニ關スル通牒……………九〇

一 農會役員届出ニ關スル通牒……………九一

一 農會法ニ於ケル行政官廳(表)……………九二

一 農會ト行政官廳トノ關係(表)……………九四

一 農會補助金交付規則(省令)……………九七

一 農會國庫補助金及共同販賣施設助成金交付申請書類ノ  
様式ニ關スル通牒並其ノ様式……………九八

一 共同販賣施設助成金交付要項ニ關スル通牒及同要項……………一〇五

一 農産物配給改善指導獎勵金交付要項ニ關スル通  
牒及同要項……………一〇八

一	下級農會技術員施設獎勵金交付要項ニ關スル通牒及同要項……………	一一
一	下級農會技術員施設獎勵金交付ニ關スル通牒……………	一三三
一	農業經營改善助成金交付ニ關スル通牒及同要項……………	一三四
一	肥料配給改善助成規則(省令)……………	一三七
一	肥料配給改善助成ニ關スル通牒……………	一四一
一	菜種改良増殖獎勵金交付要項……………	一四七
附 錄		
一	農會總代選舉ニ關スル參考資料……………	一五七
一	質 疑 應 答……………	一七六
一	各級農會會則ニ關スル帝國農會ノ通牒……………	一八〇

### 農 會 法

(大正十一年四月十二日法律第四十號)

- 第一條 農會ハ農業ノ改良發達ヲ圖ルヲ以テ目的トス
  - 第二條 農會ハ法人トス
  - 第三條 農會ハ其ノ目的ヲ達スル爲左ノ事業ヲ行フ
    - 一 農業ノ指導獎勵ニ關スル施設
    - 二 農業ニ従事スル者ノ福利増進ニ關スル施設
    - 三 農業ニ關スル研究及調査
    - 四 農業ニ關スル紛議ノ調停又ハ仲裁
    - 五 其ノ他農業ノ改良發達ヲ圖ルニ必要ナル事業
  - 第四條 農會ハ營利事業ヲ爲スコトヲ得ス
  - 第五條 農會ハ農業ニ關スル事項ニ付行政廳ニ建議スルコトヲ得
- 農會ハ行政廳ノ諮問ニ對シ答申スヘシ

第六條 行政官廳ハ農會ニ對シ農業ニ關スル報告書ノ提出及農業ニ關スル事項ノ調査ヲ命スルコトヲ得

第七條 政府ハ農會ニ對シ豫算ノ範圍内ニ於テ補助金ヲ交付スルコトヲ得

第八條 農會ハ町村農會、市農會、郡農會、道府縣農會及帝國農會トス

第九條 農會ノ地區ハ町村農會ニ在リテハ町村又ハ町村組合、市農會ニ在リテハ市、

郡農會ニ在リテハ郡又ハ島司ヲ置キタル島嶼、道府縣農會ニ在リテハ道府縣、帝國農會ニ在リテハ内地ノ區域ニ依ル

特別ノ事由アルトキハ農會ノ地區ハ前項ノ區域ニ依ラサルコトヲ得

第一項ノ區域ニ増減アリタルトキハ其ノ區域ヲ地區トスル農會ノ地區モ亦之ニ應シテ増減アリタルモノトス

町村カ市ト爲リタルトキハ其ノ町村ノ區域ヲ地區トスル町村農會ハ市農會ト爲リタモノトス

第十條 農會ノ名稱ニハ町若ハ村農會、市農會、郡農會、道、府若ハ縣農會又ハ帝國

農會ナル文字ヲ用キルヘシ但シ農會ノ地區カ町、村、市、郡、道、府又ハ縣ノ區域ニ依ラサルトキハ其ノ名稱中ニ此等ノ區域ヲ示スヘキ文字ヲ用キサルコトヲ得  
本法ニ依リ設立シタル農會ニ非サレハ其ノ名稱中ニ前項ニ掲クル文字ヲ用キルコトヲ得ス

第十一條 農會ハ町村農會及市農會ニ在リテハ國、公共團體及命令ヲ以テ規定シタル者ヲ除クノ外其ノ地區内ノ耕地、牧場又ハ原野ヲ所有スル者及其ノ地區内ニ於テ農業ヲ營ム者、郡農會ニ在リテハ其ノ地區内ノ町村農會、道府縣農會ニ在リテハ其ノ地區内ノ市農會、郡農會及郡農會ノ會員ニ非サル町村農會、帝國農會ニ在リテハ道府縣農會ヲ以テ其ノ會員トス

第十二條 農會ヲ設立セムトスルトキハ其ノ地區内ノ會員タル資格ヲ有スル者ノ三分ノ二以上ノ同意ヲ得テ創立總會ヲ開キ會則ヲ議定シ行政官廳ノ認可ヲ受クヘシ  
町村農會及市農會ニ在リテハ前項ノ同意ヲ爲シタル者ノ所有シ又ハ占有スル其ノ地區内ノ耕地、牧場及原野ノ面積ハ私用ニ供スル其ノ地區内ノ耕地、牧場及原野ノ面

積ノ二分ノ一以上ナルコトヲ要ス但シ特別ノ事由アル場合ニ於テハ此ノ條件ニ依ラサルコトヲ得

四

第十三條 郡農會、道府縣農會又ハ帝國農會ヲ設立セムトスルトキハ其ノ農會ノ會員タルヘキ農會ハ其ノ總會ニ於テ創立委員各一人ヲ其ノ役員中ヨリ選任スヘシ但シ道府縣農會ヲ設立スル場合ニ於テ郡農會ノ會員ニ非サル町村農會カ選任スル創立委員ノ選出ニ付テハ命令ノ定ムル所ニ依ル

第十四條 町村農會及市農會ノ創立總會ニ於テハ其ノ會員タル資格ヲ有スル者ノ中ヨリ其ノ役員並其ノ組織スヘキ農會ノ議員及豫備議員ト爲ルヘキ者ヲ、其ノ他ノ農會ノ創立總會ニ於テハ其ノ創立委員中ヨリ其ノ役員並其ノ組織スヘキ農會ノ議員及豫備議員ト爲ルヘキ者ヲ選任スヘシ但シ第二十七條第二項但書及第三項ノ規定ハ此ノ場合ニ之ヲ準用ス

第十五條 農會ハ設立ノ認可ヲ受ケタル時成立ス

第十六條 農會成立シタルトキハ其ノ地區内ノ會員タル資格ヲ有スル者ハ總テ之ニ加入シタルモノト看做ス但シ行政官廳カ特別ノ事由ニ依リ加入ノ必要ナシト認メタル者ハ此ノ限ニ在ラス

第十七條 農會ニ總會ヲ置ク  
總會ハ町村農會及市農會ニ在リテハ會長副會長及會員、其ノ他ノ農會ニ在リテハ會長副會長議員及特別議員ヲ以テ之ヲ組織ス

郡農會、道府縣農會又ハ帝國農會ノ議員ハ其ノ農會ノ會員タル農會ニ於テ各一人ヲ其ノ役員中ヨリ選任スヘシ但シ郡農會ノ會員ニ非サル町村農會カ選任スル議員ノ選出ニ付テハ命令ノ定ムル所ニ依ル

郡農會、道府縣農會及帝國農會ノ設立ノ場合ニ於テハ創立委員其ノ農會ノ議員ト爲ル

第十八條 郡農會、道府縣農會又ハ帝國農會ノ會員タル農會ハ命令ノ定ムル所ニ依リ豫備議員各一人ヲ其ノ役員中ヨリ選任スヘシ  
豫備議員ハ議員事故アルトキハ之ヲ代理シ議員闕ケタルトキハ議員ト爲ル

五



前條第三項但書ノ規定ハ豫備議員ニ付キ之ヲ準用ス

第十九條 行政官廳ハ農業ニ關スル學識經驗アル者ヲ郡農會、道府縣農會又ハ帝國農會ノ特別議員ニ任命スルコトヲ得

特別議員ノ員數ハ議員定數ノ三分ノ一ヲ超ユルコトヲ得ス

第二十條 左ニ掲クル事項ハ總會ノ議決ヲ經ヘシ

- 一 收支豫算
- 二 經費ノ分賦收入方法
- 三 事業報告及收支決算
- 四 借入金
- 五 基本財産ノ造成、管理及處分
- 六 會則ノ變更
- 七 役員、議員及豫備議員ノ選任及解任
- 八 第十二條第一項、第二十四條第二項及第三十五條ノ同意

前項第一號、第二號、第四號及第六號ニ掲クル事項ノ決議ハ行政官廳ノ認可ヲ受クルニ非サレハ其ノ效力ヲ生セズ

第二十一條 總會ハ會長之ヲ招集ス

總會ヲ組織スル者ハ其ノ總數ノ三分ノ一以上ノ同意ヲ得テ會議ノ目的タル事項及招集ノ事由ヲ記載シタル書面ヲ提出シ總會ノ招集ヲ請求スルコトヲ得

會長正當ノ事由ナクシテ前項ノ規定ニ依ル請求アリタル後十四日以内ニ總會ヲ招集セサルトキハ請求者ハ行政官廳ノ認可ヲ受ケ之ヲ招集スルコトヲ得

前三項ノ規定ニヨリ總會ヲ招集スルコト能ハサルトキハ行政官廳ハ會員又ハ議員若ハ特別議員ヲ指定シテ總會ヲ招集セシムルコトヲ得

第二十二條 總會ノ議長ハ會長、會長事故アルトキハ副會長ヲ以テ之ニ充ツ會長及副會長共ニ事故アルトキ又ハ前條第三項若ハ第四項ノ場合ニ於テハ出席者ノ互選ニ依リ議長ヲ定ム

第二十三條 總會ノ議事ハ本法ニ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外出席者ノ過半數ヲ以

テ之ヲ決ス可否同數ナルトキハ議長ノ決スル所ニ依ル

第二十四條 會則ノ變更ハ總會ニ於テ之ヲ組織スル者半數以上出席シ出席者ノ三分ノ二以上ヲ以テ之ヲ議決ス

會則ノ變更カ地區ノ増減ニ關スルトキハ前項ノ規定ニ依ル議決ノ外新ニ編入セラレ又ハ削除セラルヘキ區域内ノ會員タル資格ヲ有スル者又ハ會員ノ三分ノ二以上ノ同意アルコトヲ要ス

第二十五條 總會ノ議決ヲ經ヘキ事項ニシテ輕微ナルモノニ付テハ會則ノ定ムル所ニ依リ書面ヲ以テ其ノ總會ヲ組織スル者ノ意見ヲ徵シ總會ノ議決ニ代フルコトヲ得但シ町村農會及市農會ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第二十六條 町村農會及市農會ハ命令ノ定ムル所ニ依リ總代會ヲ置キ總會ニ代フルコトヲ得

總代會ハ命令ノ定ムル所ニ依リ會員ノ選舉シタル總代ヲ以テ之ヲ組織ス  
總會ニ關スル規定ハ總代會ニ之ヲ準用ス

第二十七條 農會ニ左ノ役員ヲ置ク

會長	一人
副會長	一人
評議員	數人

役員ハ町村農會及市農會ニ在リテハ會員中ヨリ、其ノ他ノ農會ニ在リテハ議員及特別議員中ヨリ之ヲ選任ス但シ會長及副會長ハ其ノ他ノ者ヨリ之ヲ選任スルコトヲ妨ケス

前項但書ノ規定ニ依ル選任ハ行政官廳ノ認可ヲ受クルニ非サレハ其ノ效力ヲ生セス

第二十八條 會長ハ農會ヲ代表シ會務ヲ總理ス

副會長ハ會長ヲ補佐シ會長事故アルトキ其ノ職務ヲ代理ス

副會長ハ會則ノ定ムル所ニ依リ會長ノ職務ノ一部ヲ分掌スルコトヲ得

評議員ハ會長ノ諮問ニ應シ並會務執行及財産ノ狀況ヲ監査ス

第二十九條 總會ノ議決ヲ經ヘキ事項ニシテ臨時急施ヲ要シ總會ヲ招集スルノ暇ナシ

ト認ムルモノハ會長之ヲ專決處分スルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テハ會長ハ次ノ總會ニ於テ其ノ承認ヲ求ムヘシ

第三十條 農會ハ會則ノ定ムル所ニ依リ其ノ會員ニ對シ經費ヲ分賦シ及過怠金ヲ徵收スルコトヲ得

町村農會及市農會ハ命令ノ定ムル所ニ依リ物件ヲ以テ經費ノ負擔ヲ爲サシムルコトヲ得

町村農會及市農會ノ經費又ハ過怠金ヲ滯納スル者アル場合ニ於テ其ノ會長ノ請求アルトキハ市町村ハ市町村稅ノ例ニ依リ之ヲ處分ス此ノ場合ニ於テ農會ハ其ノ徵收金額ノ百分ノ四ヲ市町村ニ交付スヘシ

前項ニ規定スル徵收金ノ先取特權ノ順位ハ市町村其ノ他之ニ準スヘキモノノ徵收金ニ次キ其ノ時効ニ付テハ市町村稅ノ例ニ依ル

經費ノ分賦又ハ過怠金ノ徵收ニ關シテハ勅令ノ定ムル所ニ依リ異議ノ申立、訴願及行政訴訟ヲ爲スコトヲ得

第三十一條 農會ハ會則ノ定ムル所ニ依リ使用料及手数料ヲ徵收スルコトヲ得

前項ノ使用料及手数料ノ徵收ニ關シテハ民事訴訟ヲ提起スルコトヲ得

第三十二條 行政官廳ハ農會ニ對シ會務ニ關スル報告ヲ爲サシメ、會務執行又ハ財産ノ狀況ヲ檢査シ、會則收支豫算又ハ經費ノ分賦收入方法ノ變更ヲ命シ其ノ他監督上必要ナル命令又ハ處分ヲ爲スコトヲ得

第三十三條 農會ハ會則ノ定ムル所ニ依リ其ノ會員タル農會ニ對シ農業ニ關スル報告書ノ提出及農業ニ關スル事項ノ調査ヲ爲サシムルコトヲ得

第三十四條 行政官廳ハ農會ノ決議又ハ役員ノ行爲カ法令若ハ會則ニ違反シ又ハ公益ヲ害シ若ハ害スルノ虞アリト認ムルトキハ決議ヲ取消シ、役員若ハ特別議員ヲ解任シ、議員豫備議員若ハ總代ノ改選ヲ命シ、農會ノ事業ヲ停止シ又ハ農會ノ解散ヲ命スルコトヲ得

第三十五條 農會解散又ハ合併ヲ爲サトスルトキハ其ノ會員ノ三分ノ二以上ノ同意ヲ得、道府縣農會ニ在リテハ尙其ノ會員タル郡農會及市農會ノ三分ノ二以上ノ同意

ヲ得且合併ノ場合ニ於テハ會則ヲ議定シ事由ヲ具シ行政官廳ノ認可ヲ受クヘシ  
農會分割ヲ爲サムトスルトキハ前項ノ規定ニ準スル同意ノ外分割ノ各農會ノ會員又  
ハ會員タル資格ヲ有スル者ノ三分ノ二以上ノ同意ヲ得農會ノ權利義務ノ限度ヲ定メ  
且會則ヲ議定シ事由ヲ具シ行政官廳ノ認可ヲ受クヘシ  
第十二條第二項、第十三條乃至第十五條及第十七條第四項ノ規定ハ前二項ノ場合ニ  
之ヲ準用ス

第三十六條 合併後存續スル農會又ハ合併ニ因リテ設立シタル農會ハ合併ニ因リテ消  
滅シタル農會ノ權利義務ヲ承繼ス

分割ニ因リテ設立シタル農會ハ前條ノ規定ニ依リテ定リタル限度ニ於テ從前ノ農會  
ノ權利義務ヲ承繼ス

第三十七條 農會ハ解散ノ後ト雖清算ノ目的ノ範圍内ニ於テハ仍存續スルモノト看做  
ス

第三十八條 農會解散シタルトキハ會長及副會長ヲ以テ其ノ清算人トス但シ會則ニ別

段ノ規定アルトキ又ハ總會ニ於テ選任シタル者アルトキハ此ノ限ニ在ラス  
前項ノ規定ニ依リ清算人タル者ナキトキハ行政官廳清算人ヲ選任ス清算人闕ケタル  
トキ亦同シ

第三十九條 清算人ハ農會ヲ代表シ清算ヲ爲スニ必要ナル一切ノ行爲ヲ爲ス權限ヲ有  
ス

清算方法及財産處分ニ付テハ行政官廳ノ認可ヲ受クヘシ

第四十條 行政官廳必要ト認ムルトキハ清算方法及財産處分ノ變更ヲ命シ又ハ清算人  
ヲ解任スルコトヲ得

第四十一條 本法ニ於テ市町村トアルハ市制町村制ヲ施行セサル地ニ在リテハ之ニ準  
スヘキモノトシ郡トアルハ北海道ニ在リテハ北海道廳支廳長管轄區域トス

附 則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

明治三十二年法律第百三號農會法ハ之ヲ廢止ス

明治三十二年法律第百三號農會法ニ依リ設立シ本法施行ノ際現ニ存スル農會ハ之ヲ本法ニ依リ設立シタルモノト看做ス  
本法施行ノ際現ニ前項ノ農會ノ役員、議員、豫備議員又ハ特別議員ノ職ニ在ル者ハ其ノ任期中仍其ノ職ニ在ルモノトス

農會法施行期日ノ件

(大正十一年八月一日  
勅令第三百五十七號)

大正十一年法律第四十號農會法ハ大正十二年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

### 農會法第三十條ノ規定ニ依ル異議ノ申立、訴願 及行政訴訟ニ關スル件

(大正十一年八月一日) (改正) 大正十五年六月二十八日  
勅令第三百五十八號) (勅令 第二百三十四號)

第一條 農會ノ經費ノ分賦又ハ過怠金ノ徵收ノ通知ヲ受ケタル者其ノ處分ニ不服アルトキハ其ノ農會ニ異議ノ申立ヲ爲スコトヲ得

前項ノ異議ノ申立アリタルトキハ其ノ農會ノ會長ハ評議員ノ意見ヲ徵シ遲滯ナク決定ヲ爲シ異議申立人ニ之ヲ通知スヘシ

第二條 町村農會(北海道ニ於ケル町村農會ヲ除ク)、市農會又ハ郡農會ノ會員ニシテ前條第二項ノ規定ニ依リ決定ヲ受ケタルモノ其ノ決定ニ不服アルトキハ地方長官ニ訴願シ其ノ裁決ニ不服アルトキハ農林大臣ニ訴願シ又ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

北海道ニ於ケル町村農會ノ會員ニシテ前條第二項ノ規定ニ依リ決定ヲ受ケタルモノ

其ノ決定ニ不服アルトキハ北海道廳支廳長ニ訴願シ其ノ裁決ニ不服アルトキハ北海道廳長官ニ訴願シ其ノ裁決ニ不服アルトキハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

第一項ノ規定ニ依ル地方長官ノ裁決ニ付テハ當該農會ノ會長ヨリモ訴願又ハ訴訟ヲ提起スルコトヲ得前項ノ規定ニ依ル北海道廳支廳長又ハ北海道廳長官ノ裁決ニ付亦同シ

道府縣農會又ハ帝國農會ノ會員ニシテ前條第二項ノ規定ニ依リ決定ヲ受ケタルモノ其ノ決定ニ不服アルトキハ農林大臣ニ訴願シ又ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

第三條 前條第一項ノ規定ニ依リ地方長官ニ訴願セムトスルトキハ其ノ決定ヲ爲シタル農會ヲ經由スヘシ前條第二項ノ規定ニ依リ北海道廳支廳長ニ訴願セムトスルトキ又ハ前條第四項ノ規定ニ依リ訴願セムトスルトキ亦同シ

第四條 農會法第三十條第三項ノ規定ニ依ル處分ヲ受ケタル者其ノ處分ニ不服アルトキハ地方長官ニ訴願シ其ノ裁決ニ不服アルトキハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

第五條 異議ノ申立又ハ訴願若ハ行政訴訟ノ提起ハ處分ノ通知又ハ決定書若ハ裁決書

ノ交付ヲ受ケタル日ヨリ起算シ三十日以内ニ之ヲ爲スヘシ  
異議ノ申立ニ關シテハ訴願法第五條、第八條第三項、第九條、第十條及第十二條乃  
至第十四條ノ規定ヲ準用ス

附 則

本令ハ大正十二年一月一日ヨリ之ヲ施行ス  
農會令ハ之ヲ廢止ス

附 則

〔改正〕大正十五年六月二十八日  
勅令 第二百三十四號

本令ハ大正十五年七月一日ヨリ之ヲ施行ス  
従前ノ規定ニ依リ郡長ニ提起シタル訴願ニシテ本令施行ノ日迄ニ其ノ裁決ナキモノハ  
之ヲ本令ニ依リ地方長官ニ提起シタルモノト看做ス  
従前ノ規定ニ依リ郡長ノ爲シタル裁決ニ關スル訴願ニ付テハ仍従前ノ例ニ依ル此ノ場

合ニ於テハ訴願ノ提起ハ裁決ヲ爲シタル行政廳ヲ經由スルコトヲ要セス  
前項ノ訴願ノ裁決ニ對スル訴訟ニ付テハ仍従前ノ例ニ依ル

【參 照】

明治二十三年十月十日公布法律第百五號訴願法

### 農會法施行規則

(大正十一年八月十七日)  
農商務省令第十六號

「改正」

大正十四年四月二十五日  
農林省令第六號  
大正十五年六月二十三日  
農林省令第十三號

二〇

第一條 町村農會又ハ市農會ノ地區内ニ於テ左ノ各號ノ一ニ該當スル農業ノミヲ營ム者ハ其ノ農會ノ會員ヨリ之ヲ除外ス

一 一段歩未滿ノ他人ノ土地ニ於テ行フ耕種

二 一箇年ヲ通シテ框製蠶種四枚未滿又ハ之ニ相當スル蠶種ヲ掃立テテ行フ養蠶

三 前二號ニ掲クルモノヲ併セ行フ農業

前項ニ掲クル者ノ外地方長官ニ於テ特ニ町村農會及市農會ノ會員ヨリ除外スルノ必要アリト認ムル者アルトキハ農林大臣ノ認可ヲ受ケ命令ヲ以テ之ヲ定ムルコトヲ得

第二條 町村農會又ハ市農會ハ會則ノ定ムル所ニ依リ其ノ地區内ニ居住セサル會員ヲシテ其ノ地區内ニ代理人ヲ設ケシムルコトヲ得

農會ハ前項ノ代理人ニ對スル通知ヲ以テ本人ニ對スル通知ニ代フルコトヲ得

第三條 農會ヲ設立セムトスルトキハ會員タル資格ヲ有スル者發起人ト爲リ他ノ會員タル資格ヲ有スル者ニ地區、創立費用、收支概算及經費分賦收入方法ノ概要ヲ通知シ設立ノ同意ヲ求ムヘシ

第四條 農會法第十三條但書ノ創立委員ノ選出ニ付テハ第十四條ノ規定ヲ準用ス

第五條 創立總會ハ町村農會及市農會ニ在リテハ其ノ會員タル資格ヲ有スル者、其ノ他ノ農會ニ在リテハ其ノ創立委員ヲ以テ之ヲ組織ス

第六條 發起人創立總會ヲ招集セムトスルトキハ帝國農會ニ在リテハ少クとも三十日前ニ、其ノ他ノ農會ニ在リテハ少クとも十四日前ニ會議ノ目的タル事項、日時及場所ヲ創立總會ヲ組織スヘキ者ニ通知シ尙町村農會及市農會ニ在リテハ之ヲ公告スヘシ

第七條 創立總會ノ議事ハ之ヲ組織スル者ノ三分ノ二以上ノ同意アルニ非サレハ之ヲ議定スルコトヲ得ス

町村農會及市農會ノ創立總會ニ在リテハ會員タル資格ヲ有スル者ハ他ノ會員タル資



格ヲ有スル者ニ委任シテ其ノ議決權ヲ行フコトヲ得此ノ場合ニ於テハ其ノ代理權ヲ證スル書面ヲ差出スヘシ

創立總會ノ議長ハ出席者中ヨリ之ヲ互選スヘシ

第二十四條ノ規定ハ創立總會ニ付之ヲ準用ス

第八條 農會ノ負擔ニ歸スヘキ創立費用及其ノ償却方法ハ創立總會ノ承認ヲ經ヘシ

第九條 郡農會ノ會員ニ非サル町村農會ノ創立總會ニ於テハ其ノ組織スヘキ道府縣農會ノ議員及豫備議員ト爲ルヘキ者ノ選任ハ之ヲ行ハス

第十條 創立總會終了シタルトキハ發起人ハ遲滞ナク設立認可申請書ヲ行政官廳ニ差出スヘシ

前項ノ認可申請書ニハ會則、設立ニ付法定ノ同意アリタルコトヲ證スル書面、創立費用ノ明細書及議事録ノ謄本ヲ添付スヘシ

農會法第九條第二項及第十二條第二項但書ノ場合ニ於テハ前項ニ掲クルモノノ外其ノ事由ヲ記載シタル書面ヲ添付スヘシ

第十一條 會則ニハ農會法及本則ニ規定スルモノノ外左ニ掲クル事項ヲ記載スヘシ

一 名 稱

二 事 業

三 事 務 所

四 農會法第九條第一項ノ區域ニ依ラサル農會ニ在リテハ其ノ地區

五 役員ノ定數

六 總代會ヲ置ク農會ニ在リテハ總代ノ定數、任期、選任及解任ニ關スル規定

七 會議ニ關スル規定

八 會計ニ關スル規定

第十二條 農會ノ設立ヲ認可シタルトキハ行政官廳ハ其ノ農會ノ名稱、地區、事務所及認可ノ年月日ヲ告示スヘシ其ノ告示シタル事項ニ變更アリタルトキ亦同シ

第十三條 町村農會及市農會ハ會員名簿ヲ調製シ之ヲ事務所ニ備ヘ置クヘシ會員名簿ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ

一 會員ノ氏名及住所  
 二 會員タル資格  
 三 地租納額其ノ他經費賦課ノ基礎ト爲ルヘキ事項  
 四 代理人ノ氏名及住所  
 會員名簿ノ記載事項ニ變更アリタルトキハ農會ハ遲滞ナク之ヲ訂正スヘシ  
 會員名簿ノ閲覧ヲ求ムル者アリタルトキハ農會ハ正當ノ事由アル場合ヲ除クノ外之ヲ拒ムコトヲ得ス

第十四條 郡農會ノ會員ニ非サル町村農會ノ選出スヘキ道府縣農會ノ議員及豫備議員ハ郡毎ニ各一名トシ其郡内ニ在ル郡農會ノ會員ニ非サル町村農會ハ其役員中ヨリ之ヲ選任スヘシ

第十五條 郡農會、道府縣農會及帝國農會成立シタルトキハ其ノ會員タル農會ハ最近ノ總會ニ於テ豫備議員ヲ選任スヘシ但シ郡農會ノ會員ニ非サル町村農會ノ行フ豫備議員ノ選任ニ付テハ其ノ組織スル道府縣農會ノ指定スル期日ニ依ル

第十六條 豫備議員闕ケタルトキハ其ノ豫備議員ヲ選任シタル農會ハ最近ノ總會ニ於テ豫備議員ヲ選任スヘシ  
 前條但書ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第十七條 役員、議員及豫備議員ノ任期ハ農會ノ事業年度ニ從ヒ四箇年トス但シ補闕ノ役員、議員及豫備議員ノ任期ハ前任者ノ殘任期間トス  
 新ニ成立シタル農會ノ最初ノ役員、議員及豫備議員ノ任期ハ他ノ農會ノ役員、議員及豫備議員ノ殘任期間トス  
 役員、議員及豫備議員ハ其ノ任期滿了シタルトキト雖後任者ノ就任スル迄仍其ノ職務ヲ行フモノトス

第十八條 會員百人以上ヲ以テ組織スル町村農會及市農會ハ會則ノ定ムル所ニ依リ總代會ヲ置クコトヲ得  
 總會ニ關スル規定ハ總代會ニ付之ヲ準用ス

第十九條 町村農會又ハ市農會ノ總代ハ其會員中ヨリ投票ニ依リ之ヲ選舉ス

總代ノ定數ハ二十人ヲ下ルコトヲ得ス

第二十條 總代ヲ選舉スルノ權利ハ一人一箇トス但シ同一ノ土地ヲ共有スルニ因リテ  
ノミ會員タル資格ヲ有スル者ハ之ヲ一人ト看做ス

前項ノ權利ハ會員自ラ之ヲ行フヘシ但シ未成年者及禁治産者ニ在リテハ法定代理人  
ニ於テ之ヲ行フヘシ

第二條ノ代理人ヲ設ケタル場合ニ於テハ會員ハ其ノ代理人ヲシテ第一項ノ權利ヲ行  
ハシムルコトヲ得

第二十一條 總代ノ選舉ニ關スル事務ハ會長之ヲ管理ス

第二十二條 總會ヲ招集セムトスルトキハ帝國農會ニ在リテハ少クトモ三十日前ニ、  
其ノ他ノ農會ニ在リテハ少クトモ十四日前ニ會議ノ目的タル事項、日時及場所ヲ總  
會ヲ組織スル者ニ通知スヘシ

前項ノ期間ハ會則ヲ以テ之ヲ短縮スルコトヲ得

第二十三條 總會ニ於テハ前條ノ規定ニ依リ通知シタル事項ニ付テノミ議決ヲ爲スコ

トヲ得但シ會則ニ別段ノ定アル場合ハ此限ニ在ラス

第二十四條 總會ノ議長ハ議事録ヲ作り左ニ掲クル事項ヲ記載シ議長及出席者二人以  
上ニ署名スヘシ

一 開會ノ日時及場所

二 總會ヲ組織スル者ノ定數又ハ員數

三 出席者ノ員數

四 議事ノ要領

五 議決シタル事項及賛否ノ數

第二十五條 農會ノ事業年度ハ四月一日ヨリ翌年三月三十一日迄トス

第二十六條 町村農會及市農會ノ經費ヲ賦課セムトスルトキハ左ノ賦課方法及金額ノ  
制限ニ依ルヘシ但シ總會ノ決議ヲ以テ其ノ一ニ依ルコトヲ得

一 會員 割 一人ニ付金五十錢以內

二 會員ノ資格要件タル土地ノ地租割 地租納額百分ノ五十以內

原野ニシテ農業ニ利用セサル土地ニ付テハ地租割ヲ賦課スルコトヲ得ス

特別ノ事由アル場合ニ於テハ町村農會又ハ市農會ハ地方長官ノ認可ヲ受ケ第一項ノ賦課方法又ハ金額ノ制限ニ依ラスシテ經費ヲ賦課スルコトヲ得

第二十七條 町村農會及市農會ハ其ノ會員ニ對シ總會ノ議決ニ依リ穀物、繭其ノ他ノ農産物ヲ以テ經費ヲ負擔セシムルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ物品ノ價格ハ經費ノ賦課額ニ相當スルコトヲ要ス

前項ノ規定ニ依リ經費ヲ負擔セシメラレタル會員ハ金錢ヲ以テ物件ノ納付ニ代フルコトヲ得

第二十八條 收支豫算及經費分賦收入方法ノ認可申請書ハ毎年二月末日迄ニ之ヲ行政官廳ニ差出スヘシ但シ設立ノ認可ヲ受ケタル年度ニ於テハ總會ノ議決ヲ經タル後遲滯ナク之ヲ差出スヘシ

第二十九條 會則、收支豫算及經費分賦收入方法ノ變更並借入金ノ認可申請書ニハ理由書ヲ添附スヘシ尙借入金ノ認可申請書ニハ利率、期間、借入先及償還ノ方法ヲ記

載シタル書面ヲ添附スヘシ

第三十條 事業報告及收支決算ハ次ノ事業年度内ニ總會ノ承認ヲ受ケ遲滯ナク之ヲ行政官廳ニ差出スヘシ

第三十一條 農會法第二十七條第三項ノ規定ニ依ル役員選任ノ認可申請書ニハ履歷書ヲ添附スヘシ

第三十二條 農會ニハ會則ノ定ムル所ニ依リ幹事、技師其ノ他ノ職員ヲ置クコトヲ得

第三十三條 農會ノ解散、合併若ハ分割又ハ地區ノ増減ニ關スル會則變更ノ認可申請書ニハ法定ノ同意アリタルコトヲ證スル書面ヲ添附シ尙合併ノ場合ニ於テハ合併後存續スル農會又ハ合併ニ因リテ設立スル農會ノ會則ヲ、分割ノ場合ニ於テハ分割ノ各農會ノ會則及其ノ權利義務ノ限度ヲ記載シタル書面ヲ添附スヘシ

農會法第三十五條第三項ノ規定ニ依リ準用スル同法第十二條第二項但書ノ場合ニ於ケル合併又ハ分割ノ認可申請書ニハ前項ノ書類ノ外其ノ事由ヲ記載シタル書面ヲ添附スヘシ

第三十四條 農會ノ解散、合併又ハ分割ヲ認可シタルトキハ行政官廳ハ其ノ旨ヲ告示スヘシ

第三十五條 清算結了シタルトキハ清算人ハ清算ニ關スル一切ノ書類ヲ添ヘ其ノ旨行政官廳ニ届出ツヘシ

第三十六條 左ノ場合ニ於テハ農會ハ遲滞ナク其ノ旨行政官廳ニ届出ツヘシ  
一 役員ノ選任又ハ解任アリタルトキ

二 清算人ノ就任又ハ退任アリタルトキ

第三十七條 町村農會、市農會、郡農會及道府縣農會ヨリ農林大臣ニ差出スヘキ書類ハ地方長官ヲ經由スヘシ

第三十八條 左ノ場合ニ於テハ地方長官又ハ北海道廳支廳長ハ農林大臣ニ報告スヘシ  
一 農會ノ設立、解散、合併又ハ分割ノ認可ヲ爲シタルトキ

二 農會法第三十二條ノ規定ニ依リ會則、收支豫算若ハ經費ノ分賦收入方法ノ變更ヲ命シ又ハ同法第三十四條ノ規定ニ依リ處分ヲ爲シタルトキ

三 道縣縣農會ノ特別議員ヲ任命シタルトキ

前項第二號ノ場合ニ於テハ其ノ報告書ニ事由書ヲ添附スヘシ

第三十九條 農會法第十一條、第十六條、第二十條、第二十七條、第三十四條、第三十五條、第三十九條及第四十條竝本則第三十條、第三十五條及第三十六條ニ於テ行政官廳ト稱スルハ町村農會、市農會及郡農會ニ在リテハ地方長官、道府縣農會及帝國農會ニ在リテハ農林大臣トス但シ北海道ニ於ケル町村農會ニ在リテハ北海道廳支廳長トス

北海道廳支廳長農會法第十六條ノ認可及第三十四條ノ處分ヲ爲サムトスルトキハ北海道廳長官ニ經伺スヘシ

農會法第十九條、第二十一條及第三十八條ニ於テ行政官廳ト稱スルハ町村農會、市農會、郡農會及道府縣農會ニ在リテハ地方長官、帝國農會ニ在リテハ農林大臣トス但シ北海道ニ於ケル町村農會及郡農會ニ在リテハ北海道廳支廳長トス

附 則

本則ハ大正十二年一月一日ヨリ之ヲ施行ス  
 明治三十三年農商務省令第十二號、明治三十五年農商務省令第二十六號及明治三十八年農商務省令第二十四號ハ之ヲ廢止ス  
 農會ハ當分ノ内從前ノ例ニ依リ農事ニ關スル報告書ヲ作成シ地方長官ヲ經テ之ヲ農林大臣ニ差出スヘシ

附 則

〔改正〕大正十五年六月二十三日  
 農林省令第十三號

本令ハ大正十五年七月一日ヨリ之ヲ施行ス  
 本令施行從前ノ規定ニ依リ郡長ニ對シ爲シタル申請ハ本令ニ依リ之ヲ爲シタルモノト看做ス

【參 照】

明治三十三年六月九日農商務省令第十二條ハ北海道ニ於ケル郡農會及北海道農會ヲ組織スヘキ農會ノ數ニ關スル件明治三十五年十二月二十七日同第二十六號ハ農會ニ於テ農事ニ關スル事項調査ノ件明治三十八年十一月六日同第二十四號ハ農會令施行規則ナリ

農會ノ收支豫算書、收支決算書

及會員名簿ノ様式

(大正十一年八月二十六日)  
 農商務省告示第二百六十七號

一、農會經費ノ收支豫算書(收支決算書)様式

大正何年度某農會經費收支豫算書(收支決算書)

一 金	收 入	一 金	支 出
收支差引金		收支豫算高	
大正何年度某農會收入豫算(決算)		支出豫算高	

示公省林農

五雜 收 入	四寄 附 金			三補 助 金
一財 產 收 入	一寄 附 金	三何 農 會 補 助	二道 府 縣 ( 町 村 ) 費 補 助	一國 庫 補 助

二何	一何	二何	一何	二何	一何
々	々	々	々	々	々

農林省公示

二使 用 數 料 及		一會 費	款	豫
二手 數 料	一使 用 料	一會 費	項	
			(豫 算 額)	算
二何	一何	二何	一何	三何
々	々	々	々	々
		一會 費	種	豫
		二地 租 員	目	
		三何 割 割		
			(豫 本 年 度 額)	算
			(豫 前 年 度 額)	說
			增 減	明
			備 考	

一 事 務 費		款	項	種 目	增 減 備 考	合 計	六 線 越 金
二 事 務 員 俸 給	一 役 員 報 酬						一 線 越 金
				豫 算 額			
一 何	二 何					一 何	二 何
々 々	々 々					々 々	々 々
				本 年 度 額			
				前 年 度 額			
				說 明			

大 正 何 年 度 某 農 會 支 出 豫 算 ( 決 算 )

一 會 報 收 入	二 會 報 收 入	三 過 怠 金	四 不 用 品 賣 却 代	五 雜 收
一 何	二 何	一 何	二 何	一 何
々 々	々 々	々 々	々 々	々 々
三 何				
二 何				
一 何				
種 類				
代 々 々 々 々				



二會議費

二評議員會費	一總會費	六雜費
--------	------	-----

三何	二何	一議員旅費	四何	三何	二車馬費	一修繕費	七何	六慰勞費	五備人給	四履員給
----	----	-------	----	----	------	------	----	------	------	------

三需用費

五雜給	四旅費
-----	-----

一何	二何	一委員手當	二囑託員手當	三會長交際手當	一備品費	二圖書及印刷費	三消耗品	四筆紙墨文具	五通信運搬費
----	----	-------	--------	---------	------	---------	------	--------	--------

八會報費	七仲介費	六研究費	五調查費	四講習講話費
------	------	------	------	--------

三何	一販賣斡旋費	二購買斡旋費	二何	一何	二何	一何	二何	一何	三何
----	--------	--------	----	----	----	----	----	----	----

三事業費

三役職員會費	一技術員俸給	二技術員旅費	三品評會費
--------	--------	--------	-------

一何	二何	一何	二何	一技師俸給	二技師俸給	一技師旅費	二技師旅費	一多進會費	二何
----	----	----	----	-------	-------	-------	-------	-------	----

合 計	六 豫 備 費					
	一 豫 備 費	三 何 々	二 管 理 費	一 基 本 財 產 造 成		
	二 何	一 何	二 何	一 何	二 何	一 何
	々	々	々	々	々	々

五 雜 支 出	四 會 費 諸 公 課					
	二 諸 公 課	一 會 費	一 〇 何 々 費	九 下 級 農 會 助 費		
	二 何	一 何	二 何	一 何	二 何	一 何
	々	々	々	々	々	々



施行規則附則第三項ニ依ル農事ニ關スル報告書

農會ハ當分ノ内從前ノ例ニ依リ農事ニ關スル報告書ヲ作成シ地方長官ヲ經テ之ヲ農林大臣ニ差出スコトヲ必要トス  
其ノ様式及提出ノ時期、調査事項ハ現行農會法施行規則附則ニ依リ廢止セラレタル明治三十五年農商務省令第二十六號農會ニ於テ農事ニ關スル事項ノ調査ト同様ナリトス  
今其ノ様式ヲ示セハ左ノ如シ

農會調査報告様式

第一號 一毛作田地及二毛以上作田地ノ反別

反別	一毛作田地		二毛以上作田地		合計
	桑樹果樹其他樹木ヲ植付ケタルモノ	其他	普通ノ裏作	綠肥ノ裏作	
	計		計		
			合計		

第二號 牛馬耕ヲ爲ス田畑反別

反別	田	畑	計

第三號 自作田畑及小作田畑ノ各反別

畑反別	田反別	自作		小作	合計

第四號 耕作用牛馬頭數

耕作用牛馬頭數	牛		馬		合計

第五號 總戶數及專業並兼業各農家戶數

戶數	總 戶 數	專 業 農 家	兼 業 農 家	合 計

第六號 自作、小作及自作兼小作ノ各農家戶數

戶數	自 作 農 家	小 作 農 家	自 作 兼 小 作 農 家	合 計

第七號 耕地所有ノ廣狹ニ依リ區別シタル農家戶數

戶數	五反未満	五反以上	一町以上	三町以上	五町以上	十町以上	五十町以上	合 計

第八號 耕作スル耕地ノ廣狹ニ依リ區別シタル農家戶數

戶數	五反未満	五反以上	一町以上	二町以上	三町以上	五町以上	合 計

第九號 農業ニ關スル教育ヲ受ケタル者ノ現在數

現在數	農學校農事講習所又ハ之ニ準スヘキモノヲ卒業シタル者				農事講習會又ハ之ニ準スヘキモノニ於テ講習ヲ受ケタルモノ	合 計
	小學程度	中學程度	高等學校程度	大學程度		

調査ノ標準

一 一毛作トハ一年中ニ一回植付ケタルモノトスルコト(故障ノタメ收穫出來ストモ) 稻、其ノ他ノ苗代ハ一毛ニ數ヘサルコト(苗ヲ販賣スル場合ニモ) 桑樹、果樹其ノ他樹木ヲ植付ケタルモノハ一毛作ト看做スコト、二毛以上作トハ一年中ニ二回以上別種ノ作物ヲ植付ケタルモノナルコト(但シ何種ノ作物ト雖二回以上收穫スル場合ハ二毛以上作ト看做スコト)

- 一 牛馬耕田畑ハ耕起ニ牛馬ヲ用キタルモノノミヲ計上スルコト
- 一 第一號及第二號田畑ノ面積ニハ休閒地ヲ計上セサルモノトスルコト
- 一 農事講習所又ハ之ニ準スヘキモノヲ卒業シタル者ハ小學程度中學程度高等學校程度、大學程度ヲ卒業シタルモノニ分類スルコト
- 一 農事講習會又ハ之ニ準スヘキモノハ五日間以上開催シタルモノトスルコト
- 一 自作農家及小作農家ニハ兼業農家ヲモ併セ計上スルコト
- 一 第七號農家戸數ハ區域内ニ現住スルモノヲ計上シ所有耕地ハ區域外ニ在ルモノト雖合算ニ調査スルコト
- 一 第三號田畑面積中ニハ休閒地ヲモ計上シ第八號ノ調査ニ要スル面積ニモ同シク算入スルコト
- 一 第三號ノ面積合計ト第七號及第八號ノ調査ニ要スル面積合計トハ必ス一致スルコトヲ要シ第五號、第六號及第八號ノ戸數合計亦必ス一致スルコト

### 模範會則

#### 何々縣(道府郡)農會會則

- 第一條 本會ハ農業ノ改良發達ヲ圖ルヲ以テ目的トス
- 第二條 本會ハ何々縣(道府郡)農會ト稱ス
- 第三條 本會ハ其ノ目的ヲ達スル爲左ノ事業ヲ行フ
  - 一 農業ノ指導獎勵ニ關スル施設
  - 二 農業ニ従事スル者ノ福利増進ニ關スル施設
  - 三 農業ニ關スル研究及調査
  - 四 農業ニ關スル紛議ノ調停又ハ仲裁
  - 五 . . . . .
  - 六 其ノ他農業ノ改良發達ヲ圖ルニ必要ナル事業
- 第四條 本會ノ地區ハ何縣(道府郡)ノ區域ニ依ル
- 第五條 本會ノ事務所ハ何縣何市(郡)何町(村)何番地ニ置ク
- 第六條 本會ノ公告ハ左ノ方法ニ依リ之ヲ行フ

- 一 何々揭示場
- 二 何々農會報
- 三 何々新聞
- 四 ……

第七條 本會ノ事業年度ハ四月一日ヨリ翌年三月三十一日迄トス

第八條 本會ニ顧問ヲ置ク

顧問ハ農業ニ功勞アル者又ハ農業ニ關シ學識經驗アル者ヨリ總會ニ於テ之ヲ推薦ス  
顧問ハ總會ニ出席シ意見ヲ述フルコトヲ得但シ議決權ヲ有セス

- 第九條 本會ニ左ノ役員ヲ置ク
- 會長 一人
  - 副會長 一人
  - 評議員 何人

第十條 役員ハ總會ニ於テ議員及特別議員中ヨリ之ヲ選任ス但シ會長及副會長ハ其ノ他ノ者ヨリ之ヲ選任スルコトヲ妨ケス

役員ノ選任ハ投票ニ依リ之ヲ行フ但シ總會ノ議決ヲ經指名推薦ヲ以テ投票ニ代フルコトヲ得  
投票ノ最多數ヲ得タル者ヲ以テ當選者トス得票數相同シキトキハ抽籤ヲ以テ之ヲ定ム

第十一條 役員ハ正當ノ事由ナクシテ辭任スルコトヲ得ス

第十二條 總會ハ正當ノ事由アルトキハ總會ヲ組織スル者ノ三分ノ二以上ノ同意ヲ得役員ヲ解任スルコトヲ得  
役員ヲ解任シタルトキハ同時ニ補闕ノ役員ヲ選任スヘシ

第十三條 役員中闕員ヲ生シタルトキハ次ノ總會ヲ待ツコト能ハサル場合ニ限り臨時總會ニ於テ補闕ノ役員ヲ選任スヘシ

第十四條 役員ノ任期ハ事業年度ニ從ヒ四箇年トス但シ再選ヲ妨ケス  
補闕ノ爲選任セラレタル者ノ任期ハ前任者ノ殘任期間トス

第十五條 役員ノ任期滿了シタルトキト雖モ後任者就任スル迄仍其ノ職務ヲ行フモノトス

第十六條 會長ハ會務ヲ總理シ本會ヲ代表ス

會長ハ總會ノ議決ヲ經ヘキ事項ニシテ臨時急施ヲ要シ總會ヲ招集スルノ暇ナシト認ムルモノヲ專決處分スルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テハ會長ハ次ノ總會ニ於テ其ノ承認ヲ求ムルコトヲ要ス

第十七條 副會長ハ會長ヲ補佐シ會長事故アルトキハ其ノ職務ヲ代理ス  
會長ハ副會長ヲシテ左ノ事項ヲ分掌セシムルコトヲ得

- 一 庶務ニ關スル事項
- 二 ……圓未滿ノ金錢ノ收支ニ關スル事項



三.....

第十八條 評議員ハ會長ノ諮問ニ應シ並會務執行及財産ノ狀況ヲ監査ス

會長ハ左ニ掲クル事項ニ付テハ評議員ニ諮問スルヲ要ス

一 總會ニ提出スヘキ議案ニ關スル事項

二 臨時總會ノ招集ニ關スル事項

三 寄附ノ受諾及拒否ニ關スル事項

四 農會法第三十條第五項ニ依ル異議申立ノ決定ニ關スル事項

五.....

第十九條 役員ハ名譽職トス但シ總會ノ議決ヲ經テ報酬ヲ給スルコトヲ得

第二十條 本會ハ總會ニ於テ役員中ヨリ帝國(道府縣)農會ノ議員及豫備議員各一人ヲ選任ス第十條第二項及第三

項、第十一條並第十二條ノ規定ハ前項ノ議員及豫備議員ニ付キ、第十三條ノ規定ハ前項ノ豫備議員ニ付キ之ヲ

準用ス

第二十一條 本會ニ左ノ職員ヲ置ク

幹事 何人

技師 何人

技手 何人

書記 何人

幹事ハ會長ノ命ヲ承ケテ事務ヲ掌ル

技師ハ會長ノ命ヲ承ケテ技術ヲ掌ル

技手ハ會長ノ命ヲ承ケテ技術ニ從事ス

書記ハ會長ノ命ヲ承ケテ事務ニ從事ス

第二十二條 職員ハ會長之ヲ任免ス

第二十三條 職員ニハ別ニ定ムル所ニ依リ俸給ヲ支給ス

第二十四條 職員退職シタルトキハ退職給與金ヲ支給ス

退職給與金ニ關スル細則ハ總會ノ議決ヲ經テ之ヲ定ム

第二十五條 本會ノ事業ニ關シ特別審議ヲ要スル場合ハ委員會ヲ設クルコトヲ得

委員ノ選任、解任及委員會ニ關スル細則ハ會長之ヲ定ム

第二十六條 本會ニ總會ヲ置ク

總會ハ會長、副會長、議員及特別議員ヲ以テ之ヲ組織ス

第二十七條 本會ノ議員及豫備議員ハ會員タル農會ニ於テ其ノ役員中ヨリ各一人ヲ選任スヘシ

第二十八條 第十四條及第十五條ノ規定ハ前條ノ議員ニ付キ之ヲ準用ス

第二十九條 左ニ掲クル事項ハ總會ノ議決ヲ經ルモノトス

- 一 收支豫算
  - 二 經費ノ分賦收入方法
  - 三 事業報告及收支決算
  - 四 借入金
  - 五 基本財産ノ造成、管理及處分其ノ他財産ノ處分ニ關スル事項
  - 六 會則ノ變更
  - 七 役員並帝國(道府縣)農會ノ議員及豫備議員ノ選任及解任
  - 八 農會法第十二條第一項、第二十四條第二項及第三十五條ノ同意
  - 九 訴願及訴訟ニ關スル事項
  - 一〇 本則施行ニ關スル重要ナル諸細則ノ制定並ニ變更
  - 一一 . . . . .
- 第三十條 總會ハ通常總會及臨時總會ノ二種トス  
通常總會ハ毎年一回何月ニ之ヲ開ク  
臨時總會ハ會長必要ト認ムルトキハ農會法第二十一條第二項ノ規定ニ依ル請求アリタルトキ之ヲ開ク
- 第三十一條 總會ヲ招集セントスルトキハ會長ハ少クトモ十四日前ニ書面ヲ以テ會議ノ目的タル事項、日時及場所ヲ總會ヲ組織スル者ニ通知スヘシ但シ臨時急施ヲ要スル場合ニ於テハ三日前ニ通知スルヲ以テ足ル

- 第三十二條 總會ノ議長ハ會長、會長事故アルトキハ副會長之ニ當ル會長及副會長共ニ事故アルトキ又ハ農會法第二十一條第三項若ハ第四項ノ場合ニ於テハ出席者之ヲ互選ス
- 第三十三條 總會ノ議事ハ法令及本則ニ別段ノ規定アル場合ヲ除ク外總會ヲ組織スル者三分ノ一以上出席シ出席者ノ過半數ヲ以テ之ヲ決ス可否同數ナルトキハ議長ノ決スル所ニ依ル
- 第三十四條 總會ノ議事ニ關スル細則ハ本則ニ規定アルモノヲ除ク外總會ニ於テ之ヲ定ム
- 第三十五條 總會ニ於テハ豫メ通知アリタル事項ヲ除ク外緊急ノ要アルモノ及輕微ナルモノニ付議決ヲ爲スコトヲ得
- 第三十六條 總會ノ議決ヲ經ヘキ事項ニシテ輕微ナルモノニ付テハ書面ヲ以テ總會ヲ組織スル者ノ意見ヲ徵シ總會ノ議決ニ代フルコトヲ得
- 前項ノ規定ニ依リ意見ヲ徵セムトスルトキハ會長ハ十四日ヲ下ラサル回答期限ヲ定ムヘシ此ノ期限迄ニ到達セサル意見書ハ採決ノ數ニ加ヘサルモノトス
- 第三十七條 本會ハ會員タル農會ニ對シ農業ニ關スル報告書ノ提出及農業ニ關スル事項ノ調査ヲナサシム
- 第三十八條 本會ノ經費ハ會員タル農會ノ負擔トス
- 經費分賦收入方法ハ毎年總會ニ於テ之ヲ定ム
- 第三十九條 會員タル農會解散スルコトアルモ既ニ徵收シタル經費ハ之ヲ還付セサルモノトス
- 第四十條 本會ハ左ニ掲クル事項ニ付キ使用料手数料又ハ實費ノ辨濟ヲ受ク

- 一 農産物ノ販賣斡旋
- 二 農具ノ使用
- 三 設計、評價、鑑定
- 四 . . . . .
- 第四十一條 使用料、手數料及實費辨償ニ關スル細則ハ總會ノ議決ヲ經テ之ヲ定ム
- 第四十二條 經費、使用料、手數料又ハ實費辨償金ヲ滯納スル者アルトキハ會長ハ期限ヲ指定シテ之ヲ督促スヘシ
- 前項ノ督促ヲ受ケ指定期限迄ニ之ヲ完納セサルトキハ滯納金額ノ十分ノ二以内ノ過怠金ヲ課ス
- 第四十三條 本會ハ金員又ハ物件ノ補助又ハ寄附ヲ受クルコトヲ得
- 第四十四條 本會ハ基本財産ヲ設ケ
  - 特定ノ目的ナキ寄附ヲ受ケタルトキハ基本財産ニ編入ス
- 第四十五條 會長ハ主任ヲ定メテ會務ヲ處理セシム
- 第四十六條 本會ニハ左ノ帳簿ヲ備フ
  - 一 財産臺帳
  - 二 出納簿
  - 三 豫算差引簿

- 四 會費徵收原簿
  - 五 . . . . .
  - 第四十七條 剩餘金ハ翌年度ニ繰越シ收入豫算ニ編入ス
  - 第四十八條 本會ノ出納閉鎖期ハ五月末日トス
  - 第四十九條 庶務及會計ニ關スル細則ハ會長之ヲ定ム
  - 第五十條 會則ノ變更ハ總會ニ於テ之ヲ組織スル者半數以上出席シ出席者ノ三分ノ二以上ヲ以テ之ヲ議決ス
  - 第五十一條 解散ハ會員タル農會ノ三分ノ二以上ノ同意アルニ非サレハ之ヲ爲スコトヲ得ス本會解散シタルトキハ會長及副會長ヲ以テ清算人トス
- 附 則
- 本則ハ大正何年何月何日ヨリ之ヲ施行ス

何々村(市、町)農會會則

- 第一條 本會ハ農業ノ改良發達ヲ圖ルヲ以テ目的トス
- 第二條 本會ハ何々村(市町)農會ト稱ス
- 第三條 本會ハ其ノ目的ヲ達スル爲左ノ事業ヲ行フ
  - 一 農業ノ指導獎勵ニ關スル施設
  - 二 農業ニ從事スル者ノ福利増進ニ關スル施設
  - 三 農業ニ關スル研究及調査
  - 四 農業ニ關スル紛議ノ調停又ハ仲裁
  - 五 . . . . .
  - 六 其他農業ノ改良發達ヲ圖ルニ必要ナル事業
- 第四條 本會ノ地區ハ何縣何郡何村ノ區域ニ依ル
- 第五條 本會ノ事務所ハ何縣何郡何村何番地ニ置ク
- 第六條 本會ノ公告ハ左ノ方法ニ依リテ之ヲ行フ
  - 一 何々揭示場
  - 二 村農會報、村報

模範會則

- 三 . . . . .
- 第七條 本會ノ事業年度ハ四月一日ヨリ翌年三月三十一日迄トス
- 第八條 本會ハ會員名簿ヲ作成シ之ヲ事務所ニ備フ
  - 會員名簿ノ記載事項ニ變更ヲ生シタルトキハ會員ハ遲滞ナク其ノ旨ヲ届出ツヘシ本會ノ會員タル資格ヲ取得シ又ハ喪失シタルトキ亦同シ
  - 會員名簿ノ訂正ヲ要スルトキハ會長ハ遲滞ナク之ヲ訂正スヘシ
- 關係者ハ本會ノ事務所ニ於テ執務時間内何時ニテモ會員名簿ノ閱覽ヲ求ムルコトヲ得但シ本會ニ支障アルトキハ之ヲ拒絶スルコトアルヘシ
- 第九條 本會ノ會員本會ノ地區内ニ居住セサル場合ニ於テハ代理人ヲ設ケルコトヲ得
  - 代理人ヲ設ケタルトキハ其ノ氏名及住所ヲ届出ツヘシ
  - 代理人ハ本會ノ地區内ニ居住スル會員タルコトヲ要ス
  - 本會ハ農會ニ關スル一切ノ事項ニ付代理人ニ對スル通知ヲ以テ本人ニ對スル通知ニ代フ
- 第十條 本會ニ顧問ヲ置ク
  - 顧問ハ農業ニ功勞アル者又ハ農業ニ關シ學識經驗アル者ヨリ總會(總代會)ニ於テ之ヲ推薦ス
  - 顧問ハ總會(總代會)ニ出席シ意見ヲ述フルコトヲ得但シ議決權ヲ有セス
- 第十一條 本會ニ左ノ役員ヲ置ク

會長 一人  
副會長 一人  
評議員 何人

第十二條 役員ハ總會(總代会)ニ於テ會員中ヨリ之ヲ選任ス但シ會長副會長ハ會員以外ノ者ヨリ之ヲ選任スルコトヲ妨ケス

役員ノ選任ハ投票ニ依リテ之ヲ行フ但シ總會(總代会)ノ議決ヲ經指名推薦ヲ以テ投票ニ代フルコトヲ得

投票ノ最多數ヲ得タル者ヲ以テ當選者トス得票數相同シキトキハ抽籤ヲ以テ之ヲ定ム

第十三條 役員ハ正當ノ事由ナクシテ辭任スルコトヲ得ス

第十四條 總會(總代会)ハ正當ノ事由アルトキハ總會(總代会)ヲ組織スル者ノ三分ノ二以上ノ同意ヲ得役員ヲ解任スルコトヲ得役員ヲ解任シタルトキハ同時ニ補闕ノ役員ヲ選任スヘシ

第十五條 役員中闕員ヲ生シタルトキハ次ノ總會(總代会)ヲ待ツコト能ハサル場合ニ限り臨時總會(總代会)ニ於テ補闕ノ役員ヲ選任スヘシ

第十六條 役員ノ任期ハ事業年度ニ從ヒ四箇年トス但シ再選ヲ妨ケス

補闕ノ爲選任セラレタル者ノ任期ハ前任者ノ殘任期間トス

第十七條 役員ハ其ノ任期滿了シタルトキト雖モ後任者就任スル迄仍其ノ職務ヲ行フモノトス

第十八條 會長ハ會務ヲ總理シ本會ヲ代表ス會長ハ總會(總代会)ノ議決ヲ經ヘキ事項ニシテ臨時急施ヲ要シ總會

(總代会)ヲ招集スルノ暇ナシト認ムルモノヲ專決處分スルコトヲ得前項ノ場合ニ於テハ會長ハ次ノ總會(總代会)ニ於テ其ノ承認ヲ求ムルコトヲ要ス

第十九條 副會長ハ會長ヲ補佐シ會長事故アルトキハ其ノ職務ヲ代理ス

第二十條 評議員ハ會長ノ諮問ニ應ジ並會務執行及財産ノ狀況ヲ監査ス

會長ハ左ニ掲クル事項ニ付テハ評議員ニ諮問スルヲ要ス

一 總會ニ提出スヘキ議案ニ關スル事項

二 臨時總會ノ招集ニ關スル事項

三 寄附ノ受諾及拒否ニ關スル事項

四 農會法第三十條第五項ニ依ル異議申立ノ決定ニ關スル事項

五 . . . . .

第二十一條 役員ハ名譽職トス但シ總會(總代会)ノ議決ヲ經テ報酬ヲ給スルコトヲ得

第二十二條 本會ハ總會(總代会)ニ於テ役員中ヨリ何々郡(道、府、縣)農會ノ議員及豫備議員各一人ヲ選任ス

第二十二條第二項及第三項、第十三條並第十四條ノ規定ハ前項ノ議員及豫備議員ニ付キ、第十五條ノ規定ハ前項

ノ豫備議員ニ付キ之ヲ準用ス

第二十三條 本會ニ左ノ職員ヲ置ク

幹事 何人

技手 何人  
書記 何人

幹事ハ會長ノ命ヲ承ケテ事務ヲ掌ル  
技手ハ會長ノ命ヲ承ケテ技術ニ従事ス  
書記ハ會長ノ命ヲ承ケテ事務ニ従事ス

第二十四條 職員ハ會長之ヲ任免ス

第二十五條 職員ニハ別ニ定ムル所ニ依リ俸給ヲ支給ス

第二十六條 職員退職シタルトキハ退職給與金ヲ支給ス

退職給與金ニ關スル細則ハ總會(總代会)ノ議決ヲ經テ之ヲ定ム

第二十七條 本會ノ事業ニ關シ特別審議ヲ要スル場合ハ委員會ヲ設クルコトヲ得

委員ノ選任、解任及委員會ニ關スル細則ハ會長之ヲ定ム

第二十八條 本會ニ總會ヲ置ク

總會ハ會長、副會長及會員ヲ以テ之ヲ組織ス

(第二十八條) 本會ニ總代会ヲ置キ總會ニ代フ總代会ハ會長、副會長及總代ヲ以テ之ヲ組織ス

(第二十九條) 總代ノ定數ハ何人トス

(第三十條) 總代ハ會員ヨリ之ヲ選舉ス總代中關員ヲ生シ關員總代定數ノ三分ノ一ニ至リタルトキ又ハ本會ニ

於テ必要ト認ムルトキハ補闕ノ總代ヲ選舉スヘシ

(第三十一條) 會長ハ選舉期日前六十日ヲ期トシ其ノ日ノ現在ニ依リ選舉人名簿ヲ調製スヘシ

會長ハ選舉期日前四十日ヲ期トシ其ノ日ヨリ十四日間毎日午前十時ヨリ午後四時迄本會ノ事務所ニ於テ選舉人名簿ヲ關係者ノ縦覽ニ供スヘシ

縦覽ノ日時ハ之ヲ公告ス

選舉人名簿ニ關シ關係者ニ於テ異議アルトキハ縦覽期間經過後十日迄ニ之ヲ會長ニ申立ツルコトヲ得此ノ場合

ニ於テハ會長ハ直ニ其ノ決定ヲ爲スヘシ

(第三十二條) 會長ハ選舉期日前少クトモ七日間選舉會場、投票ノ日時及選舉スヘキ總代數ヲ公告ス

(第三十三條) 總代ノ選舉會ハ會長之ヲ管理ス會長ハ會員中ヨリ二人乃至四人ノ選舉立會人ヲ設クヘシ

(第三十四條) 選舉人名簿ニ登錄セラレタルモノニ非サレハ選舉ヲ行フコトヲ得ス

(第三十五條) 選舉ハ無記名投票ヲ以テ之ヲ行フ

投票ハ一人一票ニ限ル

選舉人ハ選舉ノ當日投票時間内ニ自ラ選舉會場ニ到リ投票ヲ爲スヘシ

投票時間内ニ選舉會場ニ入りタル選舉人ハ其ノ時間ヲ過クルモ投票ヲ爲スコトヲ得

選舉人ハ選舉會場ニ於テ投票用紙ニ自ラ被選舉人一人ノ氏名ヲ記載シテ投票スヘシ

投票用紙ハ會長ノ定ムル所ニ依リ一定ノ式ヲ用フヘシ

(第三十六條) 未成年者及禁治産者ニ在リテハ法定代理人ニ於テ選舉ヲ行フヘシ

第九條ノ代理人ヲ設ケタル場合ニ於テハ會員ハ其ノ代理人ヲシテ選舉ヲ行ハシムルコトヲ得  
前項ノ代理人ハ其ノ代理權ヲ證スル書面ヲ選舉管理者ニ提示スヘシ

(第三十七條) 左ノ投票ハ之ヲ無効トス

- 一 成規ノ用紙ヲ用キサルモノ
- 二 一投票中二人以上ノ被選舉人ノ氏名ヲ記載シタルモノ
- 三 被選舉人ノ何人タルカヲ確認シ難キモノ
- 四 被選舉權ナキ者ノ氏名ヲ記載シタルモノ
- 五 被選舉人ノ氏名ノ外他事ヲ記載シタルモノ但シ爵位職業身分住所又ハ敬稱ノ類ヲ記入シタルモノハ此ノ限  
ニ在ラス

(第三十八條) 投票ノ拒否及效力ハ選舉立會人ノ決定ス可否同數ナルトキハ選舉管理者之ヲ決スヘシ

(第三十九條) 總代ノ選舉ハ有效投票ノ數多數ヲ得タル者ヲ以テ當選者トス但シ選舉スヘキ總代數ヲ以テ選舉人名簿ニ登錄セラレタル人員數ヲ除シテ得タル數ノ七分ノ一以上ノ得票アルコトヲ要ス

前項ノ規定ニ依リ當選者ヲ定ムルニ當リ得票ノ數相同シキトキハ年長者ヲ取り年齢相同シキトキハ選舉管理者抽籤シテ之ヲ定ムヘシ

(第四十條) 選舉管理者ハ選舉錄ヲ調製シテ選舉又ハ投票ノ顛末ヲ記載シ選舉又ハ投票ヲ終リタル後之ヲ朗讀

シ選舉立會人二人以上ト共ニ之ニ署名スヘシ

選舉錄ハ投票、選舉人名簿其ノ他ノ關係書類ト共ニ選舉及當選ノ効力確定スルニ至ル迄之ヲ保存スヘシ

(第四十一條) 當選者定リタルトキハ會長ハ直ニ當選ノ旨ヲ通知スヘシ

當選者當選ヲ辭セントスルトキハ當選ノ通知ヲ受ケタル日ヨリ五日以内ニ之ヲ會長ニ届出ツヘシ

(第四十二條) 總代ノ當選ヲ辭シタル者アルトキハ會長ハ直ニ之ヲ補フヘキ當選者ヲ定ムヘシ此ノ場合ニ於テハ

第三十九條ノ規定ヲ準用ス

(第四十三條) 第四十一條第二項ノ期間ヲ經過シタルトキハ會長ハ直ニ當選者ノ住所氏名ヲ公告スヘシ

(第四十四條) 選舉ノ規定ニ違反スルコトアルトキハ選舉ノ結果ニ異動ヲ生スルノ虞アル場合ニ限り其ノ選舉ノ

全部又ハ一部ヲ無効トス

(第四十五條) 選舉人選舉又ハ當選ノ效力ニ關シ異議アルトキハ選舉ニ關シテハ選舉ノ日ヨリ當選ニ關シテハ第

四十三條ノ公告ノ日ヨリ七日以内ニ會長ニ申出ツルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ會長ハ評議員ノ意見ヲ徵シ十四日以内ニ決定スヘシ

(第四十六條) 當選無効ト確定シタルトキハ會長ハ直ニ第三十九條ノ例ニ依リ更ニ當選者ヲ定ムヘシ

選舉無効ト確定シタルトキハ更ニ選舉ヲ行フヘシ總代ノ定數ニ足ル當選者ヲ得ルコト能ハサルトキハ其ノ不足ノ員數ニ付更ニ選舉ヲ行フヘシ此ノ場合ニ於テハ第三十九條第一項但書ノ規定ヲ適用セス

(第四十七條) 第十三條、第十四條、第十六條及第十七條ノ規定ハ總代ニ付之ヲ準用ス

第二十九條 (第四十八條) 左ニ掲クル事項ハ總會(總代會)ノ議決ヲ經ルモノトス

- 一 收支豫算
- 二 經費ノ分賦收入方法
- 三 事業報告及收支決算
- 四 借入金
- 五 基本財産ノ造成、管理及處分其ノ他財産ノ處分ニ關スル事項
- 六 會則ノ變更
- 七 役員並何々郡(道、府、縣)農會ノ議員及豫備議員ノ選任及解任
- 八 農會法第十二條第一項、第二十四條第二項及第三十五條ノ同意
- 九 訴願及訴訟ニ關スル事項
- 十 本則施行ニ關スル重要ナル諸細則ノ制定並ニ變更
- 十一 ……………

第三十條 (第四十九條) 總會(總代會)ハ通常總會(總代會)及臨時總會(總代會)ノ二種トス通常總會(總代會)ハ毎年一回何月ニ之ヲ開ク臨時總會(總代會)ハ會長ノ必要ト認ムルトキハ農會法第二十一條第二項ノ規定ニ依リ請求アリタルトキ之ヲ開ク

第三十一條 (第五十條) 總會(總代會)ヲ招集セントスルトキハ會長ハ少クトモ七日前ニ書面ヲ以テ會議ノ目的

タル事項、日時及場所ヲ總會(總代會)ヲ組織スル者ニ通知スヘシ但シ通知スルコト能ハサル者ニ對シテハ公告ヲ以テ之ニ代フ

第三十二條 (第五十一條) 總會(總代會)ノ議長ハ會長、會長事故アルトキハ副會長之ニ當ル會長及副會長共ニ事故アルトキ又ハ農會法第二十一條第三項若ハ第四項ノ場合ニ於テハ出席者之ヲ互選ス

第三十三條 (第五十二條) 總會(總代會)ノ議事ハ法令及本則ニ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外總會(總代會)ヲ組織スル者ノ三分ノ一以上出席シ出席者ノ過半數ヲ以テ之ヲ決ス可否同數ナルトキハ議長ノ決スル所ニ依ル

第三十四條 (第五十三條) 總會(總代會)ノ議事ニ關スル細則ハ本則ニ規定アルモノヲ除クノ外總會(總代會)ニ於テ之ヲ定ム

第三十五條 (第五十四條) 總會(總代會)ニ於テハ豫メ通知アリタル事項ヲ除ク外緊急ノ要アルモノ及輕微ナルモノニ付キ議決ヲ爲スコトヲ得

第三十六條 (第五十五條) 本會ノ經費ハ會員ノ負擔トス  
 經費分賦收入方法ハ毎年總會(總代會)ニ於テ之ヲ定ム

第三十七條 (第五十六條) 本會ハ總會(總代會)ノ決議ヲ經物件ヲ以テ經費ノ負擔ヲ爲サシムルコトアルヘシ

第三十八條 (第五十七條) 會員ニシテ其ノ資格ヲ喪失シ又ハ其ノ資格ニ變更ヲ生スルコトアルモ既ニ徵收シタル經費ハ之ヲ還付セサルモノトス

第三十九條 (第五十八條) 本會ハ左ニ掲クル事項ニ付キ使用料、手数料又ハ實費ノ辨償ヲ及ク



- 一 農産物ノ販賣斡旋
- 二 農具ノ使用
- 三 設計、評價、鑑定
- 四 .....

第四十條 (第五十九條)ノ使用料、手数料及實費辨償ニ關スル細則ハ總會(總代会)ノ議決ヲ經テ之ヲ定ム

第四十一條 (第六十條) 經費、使用料、手数料又ハ實費辨償金ヲ滯納スルトキハ會長ハ期限ヲ指定シ之ヲ督促スヘシ

前項ノ督促ヲ及ケ指定期限迄ニ之ヲ完納セサルトキハ滯納金額ノ十分ノ二以内ノ過怠金ヲ課ス

經費及過怠金ヲ完納セサル者アルトキハ會長ハ評議員ノ意見ヲ徵シ農會法第三十條第三項ノ手續ヲ爲スコトヲ得

第四十二條 (第六十一條) 本會ハ會員又ハ物件ノ補助又ハ寄附ヲ受クルコトヲ得

第四十三條 (第六十二條) 本會ハ基本財産ヲ設ク

特定ノ目的ナキ寄附ヲ受ケタルトキハ之ヲ基本財産ニ編入ス

基本財産ハ總會(總代会)ニ於テ定メタル方法ニ依リ之ヲ造成、管理及處分ス

第四十四條 (第六十三條) 會長ハ主任ヲ定メテ會務ヲ處理セシム

第四十五條 (第六十四條) 本會ニハ左ノ帳簿ヲ備フ

模範會則

- 一 會員名簿
- 二 財産臺帳
- 三 出納簿
- 四 豫算差引簿
- 五 經費徵收原簿
- 六 .....

第四十六條 (第六十五條) 剩餘金ハ翌年度ニ繰越シ收入豫算ニ編入ス

第四十七條 (第六十六條) 本會出納閉鎖期ハ五月末日トス

第四十八條 (第六十七條) 庶務及會計ニ關スル細則ハ會長之ヲ定ム

第四十九條 (第六十八條) 會則ノ變更ハ總會(總代会)ニ於テ之ヲ組織スル者半數以上出席シ出席者ノ三分ノ二以上ヲ以テ之ヲ議定ス

第五十條 (第六十九條) 解散ハ會員ノ三分ノ二以上ノ同意アルニ非サレハ之ヲ爲スコトヲ得ス

本會解散シタルトキハ會長及副會長ヲ以テ清算人トス

附 則

本則ハ大正十二年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

### 農會法實施方ニ付通牒ノ件

七二

農會法新ニ制定セラレ大正十二年一月一日ヨリ施行ノコトト相成候處新法ニ於テハ農會ノ經費及過怠金ノ滯納ニ關シ強制徵收ノ途ヲ開キ事業ニ關スル規定ヲ設ケ其ノ公法人タルコトヲ明ニシ以テ農會ノ運用ニ便セシメタリ然レトモ若シ其ノ施設當ヲ得サルニ於テハ却テ農業ノ發達ヲ阻害スルノ惧ナシトセス仍テ左記各項御了知ノ上農業者ノ自治的發達ヲ促スヲ目的トスル同法制定ノ精神ニ則リ農會ノ發達ヲ助長スルト共ニ其ノ監督ノ周到ヲ期セラレ度此段依命及通牒候也

(大正十一年十一月二十八日大正十一年農第一)  
二三八六號農務次官ヨリ地方長官宛通牒

#### 記

#### 一、市町村農會ノ會員ニ關スル事項

市町村農會ノ地區内ノ耕地、牧場、原野ノ所有者及農業ヲ營ム者ハ總テ當然ニ其ノ會員タルヘキモノニシテ之カ除外ハ國、公共團體ノ外極メテ局限セル範圍ニ於テ之ヲ認ムルニ止メサルヘカラス  
農會法第十一條ニ基ク施行規則第一條ハ全國一般ノ除外ヲ制限的ニ列記セル外地方長官ハ命令ヲ以テ除外規定ヲ爲シ得ルコトトシ尙農會法第十六條但書ハ持別事由アルモノニ付個々處分ニ依リテ加入ノ免除ヲナシ得ルコトトセルカ之等ノ規定ハ形式上農業ヲ營ム者ナルモ實質上農會ノ會員タルニ適セサルモノモアルヘク又農業ヲ營ムヤ否ヤ明瞭ナラサルモノモアルヘキヲ以テ其ノ除外ノ途ハ之ヲ認ムルモ各地ノ事情ニ應シ之ヲ適度ニ止ム

#### ムトスル趣旨ニ外ナラサルカ故ニ此點特ニ留意相成度

#### 二、役員ニ關スル事項

農會ハ農業者ノ自治的團體ナルカ故ニ其ノ役員ハ原則トシテ會員又ハ議員若ハ特別議員中ヨリ選任スヘキモノナルハ言フ俟タス農會法第二十七條第二項カ之等以外ノ者ヨリ會長、副會長ヲ選任スルノ妨ケサル旨ノ但書ヲ設ケタルハ蓋シ特別ノ場合ニ對スル例外規定ニシテ役員爭奪ノ弊ヲ生スル場合等特ニ之ヲ必要トスル事情ナキ限リハ會員又ハ議員若ハ特別議員中ヨリ之ヲ選任セシムル様注意アリ度又評議員ニ關シテハ各農會ニ付適當ニ其ノ定數ヲ規定スルコト困難ナルヲ以テ法令ニ規定ヲ設ケサリシカ夫々其ノ農會ニ應シテ其ノ評議機關タルニ適當ナル員數ニ於テ之ヲ定メシメ役員割振り等ノ情實ノ爲過多ノ評議員ヲ置クカ如キコトナカラシムル様注意アリ度役員ノ任期ニ關シテハ其ノ改選ノ年ヲ多クノ農會ト異ニスル農會アリ故ニ新法ニ於テハ系統的組織ノ運用上其ノ任期ヲ統一セリ從ツテ新法實施前ノ現行會則ヲ變更セシメ明年三月三十一日ニ任期滿了スル様伸縮ヲ加ヘ新法實施後ニ於テ不備ナキ様取計ハレ度

#### 三、經費及會計ニ關スル事項

農會ノ經費ニ關シテハ賦課ニ當リテ苟モ苛酷ニ亘リ公平ヲ失スルカ如キ弊ヲ生スルコトナカラシムルト共ニ其支途ニ付テモ濫費ニ流レサル様充分監督セラレ度經費賦課ニ付テハ施行規則第二十六條第一項ニ制限ヲ規定セラレタルカ其ノ第二項ハ農會カ從來右ノ制限ヲ超エ經費ヲ徵シ事業ヲ營ミ來レル場合ノ外賦課標準タル地租額僅少ニシテ所要經費ヲ得難キ場合養蠶、家畜等ノ盛ナル地方ニシテ之等ヲ標準トシテ賦課スルノ場合緊要ナル事業費ノ膨脹又ハ上級農會會費ノ増加ニ伴ヒ經費ノ増加スル場合等特殊ナル事情アル場合ニ付認メラレタル例

外規定ナルヲ以テ其ノ農會ノ從前ヨリ新制限ヲ起エ經費ヲ徵收シ來レル事實又ハ其ノ他ノ特殊ナル事情、賦課ノ標準、金額若ハ率ヲ充分審査シタル上認可セラルル様致度尙認可ニ當リ會員一人ニ付五十錢以上、地租割百分ノ五十以上ニ亘ル場合ハ豫メ農務局長ニ打合セラレ度決算報告ハ總會ノ承認ヲ經ルコトヲ要スルコトナリタル關係上從來ニ比シ其ノ提出後ルルニ至ルヘキモ年來會計監督上ノ經驗ニ鑑ミ決算ハ年度終了後速ニ之ヲ集計作成スルヲ最モ肝要トシ時日ヲ經過スレハ會計ノ正確ヲ得難キニ至ルニ付道府縣農會ヲシテ年度經過後可成速ニ決算原案ヲ調査作成セシメ六月末日迄ニハ必ス之ヲ本省ニ提出セシメ後日總會カ決算ノ該原案ヲ其ノ儘承認セル場合ニハ重ネテ決算報告ヲ要セス承認アリタル旨ノ届出ヲ爲サシムルコトニ御取計相成度 以上

### 農會法施行ニ關スル注意事項

大正十一年十月二日三日ノ兩日農商務省ニ於テ道府縣廳農會監督主任官會議ノ席上ニ於ケル農務當局ヨリ示サレタル新農會法施行ニ關スル注意事項左ノ如シ

#### 一 事業ニ關スル事項

農會ノ事業ニ關シテハ農會法第三條ニ於テ其ノ規定ヲ設ケタリ之從來モ行ヒ來レル所ナリト雖列記シテ事業ノ範圍ヲ明確ナラシメムトスル趣旨ニ外ナラス其ノ各事業ニ付各位ニ於テ注意セラレ度諸點左ノ如シ

#### 一 農業ノ指導獎勵ニ關スル施設

農業生産技術ニ關スル諸般ノ指導獎勵施設ハ現在農會ノ主タル事業ニシテ市町村農會ニ在リテハ既ニ三千有餘ノ技術員ヲ設置シテ之ニ當ラシメツ、アルカ將來一層其ノ普及ヲ圖リ直接農家ノ實施指導ニ當ラシムルヲ適當トスヘク下級農會ニ在リテハ地方廳各試驗場ト常ニ連絡ヲ保チ下級農會ノ施設ノ指導助長ニ力メシムルヲ要ス而シテ農業ノ經濟的指導獎勵ニ付テハ從來經營方法ノ綜合的指導ヲ缺キタルヤノ憾ナキニアラサルヲ以テ將來農會ヲシテ此ノ方面ニ力ヲ用キシムルヲ要ス

#### 二 農業ニ從事スル者ノ福利増進ニ關スル施設

此ノ種ノ施設トシテハ農產物販賣斡旋、農業用品購入斡旋、農業倉庫等主トシテ農業經營者ニ關スルモノノ外更ニ廣ク農事ニ從事スル者ニ對シテモ農事相談所、勞働仲介、農村生活ノ改善等施設スル所アリタルカ就中經濟的

施設ヲ爲スニ當リテハ農會カ本來資本的團體ニ非シテ會費制度ノ人的團體タルノ本質ニ鑑ミ多大ノ信用又ハ責任ヲ伴フコトハ之ヲ避ケシムルコトヲ要ス

三 農業ニ關スル研究及調査

各種ノ研究及調査ハ農政上各般ノ主張及方策ノ基礎材料トナルモノナレハ力メテ精確ヲ期スルノ要アリ現ニ農會ニ就テ研究及調査スル所ハ農事統計、農家經濟、農業經濟方法、農産物ノ販路及販賣方法、肥料土壤ニ關スルモノナルカ就中農家經濟及農業經營ノ研究調査ハ今後一層力ヲ用キシムルヲ要ス

四 農業ニ關スル紛議ノ調停又ハ仲裁

農業上ノ爭議生シ當事者ニ於テ其ノ調停又ハ仲裁ヲ農會ニ求ムルモノアル場合ニ之カ解決ニ盡カスルハ農村ノ平和保持上極メテ必要ナリ此ノ如キ場合ニ於テハ農會ノ當事者ハ何レノ側ニモ偏重セス適當ナル委員ヲ選ヒテ之ヲ處理セシムル等嚴ニ公平ノ態度ヲ持スルコトヲ要ス

五 其ノ他農業ノ改良發達ヲ圖ルニ必要ナル事業

敘上ノ諸事業ノ外技術員ノ設置、講習、講話、品評會、共進會、鑑定、分析、評價等農會カ農業ノ改良發達ヲ圖ル爲ニ行フヘキ諸多ノ事業アルヘク就中下級農會ニ技術員ノ設置ヲ普及セシムルハ洵ニ緊要ナルカ故ニ今後一層之ヲ獎勵スルコトヲ要ス

二 會員ニ關スル事項

市町村農會ノ會員タルニ適セサル者ニ付テハ農會法第十一條ニ基キ施行規則第一條第一項ニ依リ全國一般ノ除外

ヲ列記シ尙同條第二項ニ依リ地方長官ノ命令ヲ以テ除外スヘキ者ヲ規定シ得ルコトトナシタリ之第一項列記ノ外形式上ハ農業ヲ營ム者ナルモ實質上農業ノ改良發達ヲ目的トスル團體ノ組織員タルニ適セサル者アルヘク又農業ヲ營ム者ト見ルヘキヤ否ヤ明瞭ナラサルモノモアルヘキヲ以テ之等ハ各地方ノ事情ニ應ジ適當ニ除外規定ヲ設ケ得ルコトトセリ、然レトモ元來農會ハ公共團體ナルヲ以テ可成廣ク加入スル様取計ハレ度

三 郡農會ニ關スル事項

郡制廢止ニ伴ヒ郡農會ハ郡費補助ヲ受クルコト能ハサルニ至ルヘキヲ以テ事情ノ許ス限リ道府縣費ヨリ之ニ代リテ補助スル様過般次官ヨリ内務部長ニ要望シ置キタルカ從來郡費補助ノミニ依リタル郡農會ノ如キハ尙維持困難ニ陥ルモノナキヲ保セサルヘシ其ノ他各般ノ事情ニ依リ解散ノ已ムナキニ至ル場合ニ於テ市町村農會ト上級農會トノ連絡斷絶スルハ農會ノ發達上頗ル遺憾ナルカ故ニ新法ニ於テハ斯ル場合ニ於テハ市町村農會カ道府縣農會ノ組織員タル例外規定ヲ設ケタリ之決シテ郡農會ノ必要ヲ認メサルニ非ス現狀ニ照セハ郡農會ハ尙心要ナル機關タルヲ以テ此ノ點誤解ナキ様致サレ度

四 地區ニ關スル事項

市町村農會及郡農會ノ地區ニ關シテハ特別ノ事情アル場合ニ於テハ町、村、市、郡ノ區域ニ依ラサルコトヲ得ルモ系統的農會ノ性質上可成行政區劃ニ一致セシムルノ方針ナルヲ以テ特ニ郡市ノ區域ニ依リ難キモノニ付テハ認可前豫メ本省ニ打合セラレ度

五 役員ニ關スル事項

農會ハ農業者ノ自治的團體ナルカ故ニ其ノ役員ハ原則トシテ會員又ハ議員若ハ特別議員中ヨリ之ヲ選任セシムルヲ適當トスルモ現時ノ狀態ニ於テハ官廳トノ聯絡上必要アル場合モアルヘク又役員爭奪ノ弊ヲ生スルニ至ル場合等モアルヘキヲ以テ新法ニ於テハ例外規定トシテ此等ノ者以外ノ者ヨリ之ヲ選任シ得ルノ途ヲ設ケタリ農會監督ノ責ニ在ル官吏カ其ノ役員ヲ兼ヌルハ動モスレハ監督ノ徹底ヲ缺キ農會ノ自治的發達ヲ阻止スルノ嫌ナキニアラヌ仍テ役員ハ敍上ノ如キ特別ノ事情ナキ限り會員又ハ議員若ハ特別議員中ヨリ選任セシムルノ方針ヲ採ラレ度役員中評議員ニ關シテハ法令ニ其ノ定數ヲ規定セサリシヲ以テ道府縣農會及郡農會ニ在リテハ其ノ議員定數ノ三分ノ一以內トシ三名ヲ下ラサル範圍ニ於テ之ヲ定メ市町村農會ニ在リテハ十名以內ニ於テ之ヲ定メシムル様取計ハレ度

役員ノ任期ニ關シテハ其ノ改選ノ年ヲ多クノ農會ト異ニスル農會アリ爲ニ系統的組織ニ不都合ヲ生スル場合アルヘキカ故ニ此ノ如キ農會ニ在リテハ新法實施ノ以前ニ於テ舊農會法第十一條ノ規定ニ依リ現在ノ役員ノ任期ニ適當ノ伸縮ヲ加ヘ新法實施ノ後ニ於テ不都合ナキ様注意セラレ度

六 總代ノ選舉ニ關スル事項

總代ノ選舉ニ關シテハ法令ニ於テ其ノ規定ヲ會則ニ讓リタル趣旨ニ依リ可成農會ニ於テ自治的ニ之ヲ定ムヘキモノナリト雖モ總代ノ選舉ニ關シテハ紛爭ヲ醸スカ如キ虞ナキ様會則認可選舉施行ノ際充分注意セラレ度

七 經費及會計ニ關スル事項

農會ノ經費賦課ニ關シテハ施行規則中ニ制限ヲ設ケタルカ之現ニ農會中此ノ制限ヲ超ユル賦課ヲ爲シツツアルモノニ付之ヲ否定シ其ノ活動ヲ拘束セムトスル趣旨ニ非ス施行規則ニ於テモ此ノ種ノ農會ノ外賦課標準タル地租額僅少ニシテ所要ノ經費ヲ得難キ場合、事業費ノ膨脹又ハ上級農會費ノ増額ニ伴ヒ經費ノ増加スル場合、養蠶養畜等ノ盛ナル地方ニシテ此等ヲ標準トシテ賦課セムトスル場合等ニ就テハ例外規定ヲ設ケタリ故ニ其ノ特殊ノ事情及賦課ノ標準金額又ハ率ヲ充分審査シタル上必要ナル程度ニ就テ制限外若ハ特別賦課標準ニ依ル賦課ヲ認可セララル様致度尙制限外賦課ノ認可ヲ爲スニ當リ會員割五十錢以上地租割百分ノ五十以上ニ亘ル場合ハ豫メ本省ニ打合セラレ度

農會ノ經費ニ付テハ賦課ニ當リテ苟モ苛酷ニ亘リ公平ヲ失スルカ如キ弊ヲ生スルコトナカラシムルト共ニ其ノ支途ニ付テモ濫費ニ亘ラサル様充分監督セラルルハ勿論從來往々行ハルル豫算ノ款外流用ハ弊害ヲ伴ヒ易ク豫算設定ノ趣旨ニ反スルモノナルヲ以テ將來ハ之ヲ爲サシメサル様監督セラレ度

八 借入金及補助金ニ關スル事項

從來農會カ事業ノ遂行ニ當リ資金ヲ借入ルル場合アルハ已ムヲ得サルコトナルヘキモ適當ノ金額ヲ超エ又ハ償還ノ方法ヲ誤ルニ於テハ多數會員ニ累ヲ及ホスコト尠ナカラサルヘキヲ以テ借入金ハ今後必ス總會ノ議決ヲ經テ行政官廳ノ認可ヲ受クルヲ要スルコトトナセリ依テ其ノ認可ニ當リテハ金額、支途、償還ノ方法、借入先等ニ付特ニ留意セラレ度

補助金ニ付テハ從來ノ實績ニ徵スルニ交付ノ條件ニ違背シ補助ノ精神ヲ没却スルノ虞アルモノナキニアラサリシモ今後ハ此ノ如キ農會ニ對シテハ補助金交付ノ指令ヲ取消シ補助金ノ減額又ハ還納ヲ命スルコトアルヘキヲ以テ

此ノ如キコトナキ様充分監督セラレ度

九 會則改正ニ關スル事項

新法實施ノ曉ニ於テ農會ノ運用ヲ圓滑ナラシメムカ爲ニハ從來ノ會則中改正ヲ要スヘキ點抄シトセス其ノ改正ニハ相當ノ時日ヲ要スヘク又之カ認可ヲナス爲ニハ新法實施前相當ノ時期ニ於テ申請ヲ爲サシムルノ要アルヘク依テ可成速カニ會則變更ノ手續ヲ採ラシメラレ度會則ノ變更ニ付テハ町村農會及市農會ハ現行法ノ下ニ於テハ代理決議ノ方法ヲ有スルモ新法實施セララルニ至ラハ其ノ手續トシテ總會出席者ノ定足數及三分ノ二以上ノ議決等嚴重ナル規定ニ依ルコトトナルニ注意スルヲ要ス而シテ現行法ノ下ニ於テ此ノ改正會則ヲ議決シ之ヲ認可スルニ當リテハ新法實施ノ日ヨリ有效トナルノ條件ヲ附スルコトヲ注意セラレ度新法ニ依ル會則規定例ハ帝國農會所定ノモノヲ適當ト認ムルヲ以テ之ニ準據セシムルヲ便トス

農會法施行規則中改正ニ關スル通牒

(大正十五年五月七日附農第七三七) 號次官ヨリ各地方長官宛通牒

本年四月農林省令第六號ヲ以テ別紙ノ通農會法施行規則中一部改正相成候處右ハ農會法實施以來ノ狀況ニ鑑ミ且財政整理ニ伴フ補助金ノ減額等ヲ考慮シ農會ノ經營ニ支障ナカラシメムトスルノ趣旨ニ出テタルモノニ有之候條徒ラニ經費ヲ膨脹セシメ負擔ノ苛重ヲ招來スルカ如キコトナキ様充分監督相成度尙右賦課率ヲ超ヘ認可ヲ爲スニ當リテハ曩ニ大正十一年十一月二十八日附農第一二、三八六號依命通牒ノ次第モ有之候處將來會員割一人ニ付一圓以上地租割百分ノ百以上ニ亙ル場合ハ豫メ農務局長ニ協議相成様致度依命此段及通牒候也

記

(別紙)

農林省令第六號

農會法施行規則中左ノ通改正ス

大正十四年四月二十五日

大正十四年四月二十五日官報掲載

農林大臣 岡崎 邦輔

第二十六條第一項中「三十錢以内」ヲ「五十錢以内」ニ「百分ノ三十以内」ヲ「百分ノ五十以内」ニ改ム

帝國農政協會等ニ關スル通牒

(大正十三年四月二十二日附農第四一〇五號)  
(農務局長ヨリ各地方長官宛通牒)

(通牒ノ一)

過般帝國農政協會設立以來各地ニ於テモ農政協會、農政俱樂部農事協會等ノ名ヲ以テ之カ系統ノ農政團體ノ設立ヲ見ルヤ各地ノ農會中其ノ趣旨ヲ贊シ或ハ之カ會員トナリ或ハ之カ經費ヲ出捐セムトスルモノアルヤニ聞キ及ヒ候カ元來此等ノ農政團體ハ帝國農政協會創立ノ宣言ニ明ナルカ如ク現在ノ系統農會カ法律ノ羈絆ヲ脱セス又政府ヨリ補助ヲ受クルノ關係上自由ナル行動ヲ爲シ得サルヲ以テ臨機變ニ應シテ敏活ナル行動ニ出ツルノ目的ノ下ニ法令ノ拘束ヲ受ケサル活動機關タラムコトヲ期シテ設立セラレタルモノニシテ畢竟農會ノ爲スヲ得サル所ヲ爲スヲ以テ其ノ主ナル目的ノ一トスルモノニ外ナラス故ニ農會カ此ノ種農政團體ノ會員トナリ又ハ經費ヲ支出シテ之ヲ補助スル等ノコトハ其ノ當ヲ得サル義ニ付貴管下ニ於ケル各級農會中此ノ如キコト無キ様御示達ノ上監督注意相成度有依命及通牒候也

(通牒ノ二)

(同上帝國農會長宛)

帝國農政協會ニ關シテハ過般來農政課長ヨリ種々申進置候次第モ有之候處今般當局ヨリ各地方長官宛別記ノ通り通牒相成候條委細右ニテ了知相成度爲參考右通牒候也

市町村農會總代及農會役員議員選任其他ノ件ニ關スル通牒

(昭和二年二月十日附農第一六三五)  
(號農林次官ヨリ各地方長官宛通牒)

本年四月以降施行セラルヘキ市町村農會ノ總代及各級農會ノ役員、議員ノ改選ニ關シテハ貴廳ニ於テモ新法實施當時第一回ノ改選ヲ行ヒタル經驗モ有之農會ノ活動上公正ナル選舉ヲ行ハシメムカ爲之カ取締及指導上ニ關シ夫々御配意中ノ事ト被察候處此際特ニ左記事項御含ノ上之カ指導上萬遺憾ナキ様致度此段及通牒候也

記

一 總代選舉規定及總會(總代會)開催期日ニ關スル事項

總代ノ選舉ニ關シテハ法令ニ於テ其ノ規定ヲ會則ニ讓リ可成農會ニ於テ自治的ニ之ヲ定ムルコト、シタリト雖モ之カ施行ニ關シテハ紛争ヲ醸スノ虞アルヲ以テ此際各般ノ事情ヲ考慮シ規定ノ不備ナルモノアラハ之ヲ補正シ且選舉ノ實施ニ付注意ヲ促シ以テ將來紛争ノ虞ナキ様留意スルコト  
尙總代ノ選舉並各級農會總會ノ期日ハ地方ノ事情ニヨリ適宜ノ時期ニ行ヒテ可ナルヘキモ凡ソ左記ニ依リ之ヲ實施セラレタキコト

- 一 總代ノ選舉ハ遅クモ四月上旬迄
- 一 市町村農會總會又ハ總代會ハ四月中
- 一 郡農會總會ハ五月中
- 一 道府縣農會總會ハ六、七月中

二 總代、役員及議員ノ銓衡ニ關スル事項

- 一 總代、役員及議員ハ其ノ人ヲ得ルト否トハ農會活動上至大ノ影響アルヲ以テ特ニ左記ニ注意アリタキコト
- 一 總代ハ會員ヨリ普ク選舉シ一階級ニ偏セサルコト
- 一 役員、議員ハ農業ニ理解ヲ有シ且至公正ノ態度ヲ保持スル者ヲ選ヒ以テ農會カ政黨ニ左右セラレ延テ農會ノ公正圓滑ナル活動ヲ妨ケラレサルコト

三 特別議員ニ關スル事項

郡農會ノ特別議員ニ關シテハ從來動モスレハ弊害ヲ生セシコトアリシヲ以テ之カ人選ニ付テハ充分嚴密ナル調査ヲ行ハレ度尙特別議員ノ數ハ必スシモ議員定數ノ三分ノ一ニ達セシムルノ要ナキヲ以テ郡農會ノ特別議員ハ強テ之ヲ任命スルノ方針ヲ採ラレサルコト

四 郡農會ニ關スル事項

郡役所廢止ノ結果郡農會ノ經營ニ關シテハ技術員其他事務費ノ膨脹ヲ來シ爲ニ地方ニ依リテハ多少經營困難ナルモノアルヘキモ郡農會ハ現下農村ノ實狀ニ鑑ミ地方産業ノ開發上並系統農會ノ運用上之カ存續ノ要アルモノ

ト認メラル、ヲ以テ之等ノ郡農會ニ對シテハ經營上改善ヲ要スヘキモノハ之ニ改善ヲ加ヘ或ハ相當助成ノ方法ヲ採ル等之カ活動ノ途ヲ講シ以テ地方産業ノ發達上支障ナカラムコトヲ期セラレタキコト



農會ノ役員、議員、總代選任其ノ他ニ關スル通牒

(昭和六年一月十四日附農第六七三號農林次官ヨリ各地方長官宛通牒)

農家ノ自治機關タル農會ノ堅實ナル活動ハ現下農村經濟不況ノ際其ノ必要一層切ナルモノ可有之ニ關シテハ今春各級農會ノ役員、議員、總代ノ改選期ニ際會致居候條前回改選ニ際シ昭和二年二月十日附農第一六三五號ヲ以テ通牒致シ置候市町村農會總代及農會役員、議員、選任其他ニ關スル事項御含ミノ上萬遺憾ナキヲ期セラレ度尙左記事項特ニ御配意相成度此段及通牒候也

記

- 一 市町村農會總代及農會役員、議員、選任等ニ關スル事項前回ノ經驗ニ鑑ミ前通牒ノ趣旨ノ徹底ヲ圖ルト共ニ代理投票ノ濫用ニ付制限ヲ設クル等弊害ノ矯正ニ付テハ適當ナル措置ヲ講シ以テ適正ナル選任ヲ行ハシムル様セラレタキコト
- 二 郡農會特別議員ニ關スル事項  
郡農會ノ特別議員ハ成ル可ク之ヲ任命セサルコトトシ特ニ任命セムトスルトキハ豫メ本省ニ打合相成タキコト
- 三 郡市町村農會ノ活動ニ關スル事項  
明年度郡市町村農會豫算編成ニ就テハ充分現下ノ農村事情ニ適スル様事務事業ノ整備充實ヲ圖リ以テ現下ノ難

總代選舉通牒

局打開ニ遺憾ナキヲ期セシメラル様致度殊ニ郡市町村農會技術員ノ活動ハ益々其ノ機能ヲ發揮スヘキ時ニ有之當面ノ困難ノタメニ將來ノ活動ニ大ナル損失ヲ招クカ如キ動搖之無様充分ノ配意相成タキコト

農會職員退職死亡等給與金ノ件ニ關スル通牒

(昭和三年二月十日附農局第三六五號)  
農務局長ヨリ各地方長官宛)

各級農會中職員優遇ノ爲職員退職死亡等給與金支給規程ヲ設ケタルモノ不尠モ之等農會中ニハ住々給與準備金ノ積立ヲ怠リ規程ニ依ル支出ヲ要スル場合、或ハ分割給與ヲ爲シ或ハ資金借入ノ上給與ヲ爲シ甚シキニ至テハ農會事業ヲ一時休止シ其ノ事業ニ充ツヘキ費用ヲ以テ給與ニ充ツルモノスラ有之實情ナルモ斯テハ折角ノ該制度モ一面ニ於テハ職員ニ十分ナル満足ヲ與ヘス一面ニ於テハ農會ノ會計並事業ノ運用ニ支障ヲ來サシムルコト尠カラサル議ニ付斯ル農會ニ對シテハ毎年度ノ豫算ニ於テ其ノ年度相當額ヲ積立テシムル様十分御監督相成度爲念此段及通牒候也

農會ノ財産管理ニ關スル件ニ關スル通牒

(昭和三年十二月廿六日附農局第三六九五號)  
農務局長ヨリ各地方長官宛通牒)

農會ノ監督ニ付テハ從來共御配意ノ事ト存被候處農會カ時勢ノ推移ニ伴ヒ各般ノ事業ヲ執行シ堅實ナル發展ヲ爲サムトスルニ當リテハ其ノ財産管理ハ最モ留意ヲ要スル義ニ有之候處一郡ノ農會ニ於テ財産ノ管理宜シキヲ得ス現金等ノ預入先ノ選定ヲ誤リタル結果會務ニ多大ノ支障ヲ來シタルモノアルヲ聞クハ甚タ遺憾ノ次第ニ候條將來農會所有ニ係ル現金ノ預入先ニ付テハ充分留意シ特ニ確實ナル銀行其ノ他ヲ選定スルノミナラス選定ニ付テハ必ス總會ノ議決ヲ經ル等慎重ナル手續ヲ執リ以テ遺憾無之様致シ度此旨貴管下各級農會ニ御示達ノ上徹底ヲ期セラレ度此段及通牒候也

農會ノ歲入歲出外現金ニ關スル件

(昭和五年三月十七日附農局第七六八號)  
農務局長ヨリ各地方長官宛通牒)

農會ノ會計事務ニ關シテハ從來嚴重ナル監督ヲ加ヘラレツ、有之候ヘ共其ノ取扱ニ係ル共同販賣又ハ共同購買ノ仲介ニ伴フ寄託金其ノ他入札保證金、契約保證金等歲入歲出外現金ノ整理ニ關シテハ尙取扱振リ住々緩ニ失シ時ニ詳細ナル經過ヲ窺知シ得サルモノスラ有之遺憾ニ被存候然ルニ最近各方面ノ勸奨ニ依リ農會ノ共同販賣仲介事業ノ如キハ益々發達スルノ趨勢有之候ニ付テハ右等ノ歲入歲出外現金ノ取扱フ農會ニ對シ既ニ相當簿冊ヲ整備セシムルコトニ指示セル府縣ニ於テハ一層之カ勵行ヲ期シ猶其ノ指示無之道府縣ニ於テハ此際速ニ相當簿冊ヲ整備セシメ以テ現金ノ出納ヲ明確ニシ萬遺漏無之様致度此段及通牒候也  
追而道府縣農會ニ對シテモ此趣旨徹底方法御取計相成度念爲申添候也

農會役員届出ニ關スル件

(昭和三年二月二日附農局第二八〇號)  
農務局長ヨリ各道府縣農會長宛通牒)

道府縣農會役員ノ辭任又ハ死亡ニ因リ資格消滅シタル場合ハ選任又ハ解任ノ場合ト同様農會法施行規則第三十六條及第三十九條ノ規定ニ依リ届出アリタル向モ有之候處今後ハ必ス届出相成度此段及通牒候也

役員届出通牒

Table with multiple columns and rows, containing names and details of agricultural association members. The text is faint and difficult to read.

特別議員ノ任命	一九	農林大臣	地方長官	地方長官	地方長官
總會招集ノ指定	二一	農林大臣	地方長官	地方長官	地方長官
清算人ノ選任	三八	農林大臣	農林大臣	農林大臣	農林大臣
農業ニ關スル調査報告ノ命令	六	農林大臣	農林大臣	農林大臣	農林大臣
會務報告ノ命令、會務執行財產狀況ノ報告、 會則、收支豫算又ハ經費ノ分配收入方法ノ 變更、其他監督上必要ナル命令案分	三二	農林大臣	農林大臣	農林大臣	農林大臣

農會法ニ於ケル「行政官廳」

事項	農會	帝國農會	道府縣農會	郡農會	市農會	町村農會
設立ノ認可	一二條					
總會招集ノ認可	二〇					
會長、副會長選任ノ認可	二一	農林大臣	農林大臣	地方長官	地方長官	地方長官
解散、合併、分割ノ認可	二七	農林大臣	農林大臣	地方長官	地方長官	地方長官
清算方法、財產處分方法認可	三五					
同上ノ變更、清算人ノ解任	三九					
同上ノ變更、清算人ノ解任	四〇					
強制加入ノ除外	一六	農林大臣	農林大臣	地方長官	地方長官	地方長官
決議ノ取消、役員、特別議員ノ解任、議員豫 備議員若クハ總代ノ改選、事業ノ停止、解散	三四	農林大臣	農林大臣	地方長官	地方長官	地方長官

農會ト行政官廳トノ關係

(法トアルハ農會法  
則トアルハ農會法施行規則)

甲 農會ヨリ行政官廳ニ對スル届出、認可及訴願

一 農會カ行政官廳ニ届出ヲ爲ス場合

- 1 事業報告收支決算ノ届出 (則三〇)
- 2 清算結了ノ届出 (則三五)
- 3 役員、議員及豫備議員ノ選任又ハ解任 (則三六)
- 4 清算人ノ就任又ハ退任 (則三六)

二 農會カ行政官廳ニ申請ヲ爲ス場合

- 1 農會設立ノ認可申請 (法一二)
- 2 收支豫算並ニ其ノ變更認可申請 (法二〇)
- 3 經費ノ分賦收入方法並ニ其ノ變更認可申請 (法二〇)
- 4 借入金並ニ其ノ變更認可申請 (法二〇)
- 5 會則ノ變更ノ認可申請 (法二〇)
- 6 總會招集ノ請求アリタルニ拘ラス會長カ正當ノ事由ナクシテ總會ヲ招集セサル場合ニ於ケル招集ノ認可申請 (法二七III)

農會ト行政官廳

乙 行政官廳ノ農會ニ對スル權限

一 監督上ノ命令又ハ處分

- 1 會務ニ關スル報告ヲ爲サシムルコト
- 2 會務執行又ハ財産ノ狀況報告
- 3 會則收支豫算又ハ經費ノ分賦收入方法ノ變更ヲ命スルコト
- 4 其他ノ監督上必要ナル命令又ハ處分
- 5 決議ノ取消
- 6 役員、特別議員ノ解任
- 7 議員豫備議員若クハ總代ノ改選 (法三四)

(法三二)

7 會長、副會長ヲ會員、議員及特別議員外ヨリ選任スル場合ニ於ケル認可申請 (法二七II)

8 市町村農會ノ經費過怠金ノ滯納處分ノ請求、(市町村長ニ對スル市町村農會長ノコト) (法三〇III)

9 農會解散、合併及分割ノ認可申請 (法三五及II)

10 清算方法及財産處分ノ認可申請 (法三九II)

11 市町村農會ノ經費ノ特別賦課ノ認可申請 (則二六II)

12 下級農會カ會費滯納シタル場合ニ於テハ上級農會ハ其ノ行政官廳ニ對シ處分ノ申請

三 異議ノ申立、訴願及行政訴訟

- 8 事業ノ停止
- 9 解散
- 二 其他ノ權限
- 1 諮問スルコト (法五)
- 2 農事ニ關スル報告書ノ提出及調査ヲ命スルコト (法六)
- 3 強制加入ノ除外 (法一六)
- 4 特別議員ノ任命 (法一九)
- 5 總會招集者缺ケタルトキノ招集者ノ指定 (法二一IV)
- 6 清算人ノ選任 (法三八II)
- 7 清算方法、財産處分ノ變更及清算人ノ解任 (法四〇)
- 8 市町村農會ノ會員ヨリ除外スヘキ地方長官ノ命令 (則一)

農會補助金交付規則

(大正十一年八月十七日 農商務省令第十七號)

- 第一條 農會法第七條ニ規定スル補助金ハ本則ニ依リ之ヲ交付ス
- 第二條 補助金ハ帝國農會及道府縣農會ニ之ヲ交付ス但シ農林大臣必要ト認ムルトキハ其ノ他ノ農會ニ之ヲ交付スルコトアルヘシ
- 第三條 農會補助金ノ交付ヲ受ケムトスルトキハ二月末日迄ニ申請書及左ノ書類ヲ農林大臣ニ差出スヘシ
  - 一 補助ヲ受ケムトスル年度ノ收支豫算書及事業方法書
  - 二 申請ノ理由ヲ明ニスヘキ書類
- 第四條 農會補助ノ條件ニ違反シタルトキハ農林大臣ハ補助金交付ノ指令ヲ取消シ、補助金額ヲ減少シ又ハ補助金ヲ還納セシムルコトアルヘシ
- 第五條 農會解散シタルトキハ農林大臣ハ補助金ヲ還納セシムルコトアルヘシ

附 則

本則ハ大正十二年一月一日ヨリ之ヲ施行ス  
明治三十三年農商務省令第二號農會補助金交付規則ハ之ヲ廢止ス

農會國庫補助金及共同販賣施設助成金申請書類ノ様式

其ノ他ニ關スル通牒

(大正十五年五月三日附農局第九〇九號)  
(農務局長ヨリ各地方局長官宛通牒)

農會ヨリ本省ニ提出スル書類ノ様式其ノ他ニ關スル件

從來農會ヨリ提出スル補助申請書類ノ他書類ノ様式區々ニシテ爲ニ補助金査定並ニ書類處理上不便不尠候ニ付爾今農會ヨリ本省ニ提出スル書類ニ付テハ別冊様式及注意事項ニ基キ處理致ス様致度候條農會ニ對シ別冊ノ内一部送付ノ上其ノ旨示達相成度此段及通牒候也

追テ右事項ハ曩ニ大正十五年三月十日ヨリ同月十八日ニ亘リ開催セラレタル帝國農會主催共同販賣施設講習會ニ於テ講習生ニ對シ注意致シ置キシ事項ニ之有候條申添候也

國庫補助申請書様式

年 月 日

農 林 大 臣

殿

國庫補助申請書

府 縣 農 會 長 名

農會補助金交付規則ニ依リ何年度本會經費ニ對シ國費補助相成度別紙事業計畫及經費豫算書相添此段及申請候也

補助金ノ交付ヲ受ケムトスル理由

式様請申助補





種別	収入ノ部		備考
	(決算額)	(豫算額)	
國庫補助金			
縣費補助金			
會費ヨリ			
計			
支出ノ部			

第三 販賣斡旋事業(申請書ヲ別ニ提出スルコト)

備考 本事業ニ對スル助成金ハ大正十四年五月十三日附十四農第七七〇九號地方長官宛通牒ニ基ク共同販賣施設助成金交付要項ニ基キ別ニ申請書ヲ提出スルコト

- (イ) 事業計畫(事業計畫及執行方法)
- (ロ) 經費收支豫算(決算)

計	會場費	印刷費

△注意 (イ) 補助申請ノ場合ハ豫算額ノミニテモ可ナルモ補助金交付ヲ受ケタル事業報告書ニハ決算額ノ外前記點線欄ニ申請當時ノ豫算額ヲ併記スルコト

(ロ) 補助申請書ハ二月末日迄ニ事業報告書ハ翌年月末日迄ニ報告ノコト

(ハ) 縣費其他ヨリ補助金交付金等ノ有無ニ付テハ必ス記入ヲ忘レサルコト

(ニ) 補助ノ指令ヲ受ケタルトキハ其ノ指令中記載條件事項ヲ遵守スルコト

(ホ) 前記記載事項ニ變更アリタルトキハ其ノ都度報告承認ヲ經ルコト

(二) 何々(事業名)

(一) ノ様式ニ準シ以下記入ノコト

△注意 注意事項ハ(一)ト同シ

大正十四年五月十三日附農第七七〇九號ヲ以テ通牒相成候首題ノ件ニ關シ要項中一部左記之通改正相成候條御了知ノ上貴道府縣農會ニ示達相成度此段及依命通牒候也  
 追而第三ノ申請期日ハ本年度ニ限リ七月末日迄ト致候條御了知相成度  
 記 (記ハ共同販賣施設助成金交付要項參照)

共同販賣施設助成金交付ニ關スル件

(昭和四年五月十三日附四農第六四九九號)  
 (農務局長ヨリ各地方長官宛通牒)

種別	俸給	旅費	雜給	印刷費	印刷費	獎勵費	講習會費	(何々)	雜費	計	(豫算額)		備考
											(決算額)	(豫算額)	

△注意 縣費補助ノ有無其他注意事項前葉參照ノコト

共同販賣施設助成金交付要項

(大正十四年五月十三日附農第七七〇九號通牒)  
(昭和四年五月十三日附農第六四九一部改正通牒)

- 第一 農産物共同販賣施設ノ助成金ハ毎年度豫算ノ範圍内ニ於テ販賣斡旋所ノ事業ヲ經營スル帝國農會ニ對シ之ヲ交付ス
- 農林大臣特ニ必要アリト認ムル場合ニ於テハ道府縣農會又ハ道府縣ニ本助成金ヲ交付スルコトアルヘシ
- 第二 助成金ハ左ノ各號ノ一ニ該當スル事項ノ經費ニ對シ之ヲ交付ス
  - 一 専任職員ノ設置
  - 二 生産物ノ販賣斡旋及紹介、市況ノ調査及通信、取引商人ノ信用調査又ハ荷造及輸送方法ノ指導
  - 三 其ノ他適當ト認ムル事項
- 第三 助成金ノ交付ヲ受ケムトスル者ハ申請書ニ左ノ書類ヲ添付シ二月末日迄(本年度ニ限り五月末日迄)ニ農林大臣ニ提出スヘシ
  - 一 事業計畫書
  - 二 經費ノ明細書
  - 三 地方費其ノ他ヨリノ補助アル場合ハ其ノ金額

共同販賣通牒

- 第四 事業計畫並經費豫算ノ變更及殘額ノ處分ニ付テハ豫メ農林大臣ノ承認ヲ受クヘシ
- 第五 助成金ノ交付ヲ受ケタル者交付ノ條件若ハ前項ニ違反シタルトキ又ハ事業施行及經費支出ノ方法不適當ト認メタルトキハ農林大臣ハ助成金額ノ全部又ハ一部ヲ還付セシムルコトアルヘシ
- 第六 助成金ノ交付ヲ受ケタル者ハ事業成績及收支決算ヲ翌年六月三十日迄ニ農林大臣ニ報告スヘシ
- 第七 助成金ニ關シ道府縣農會ヨリ提出スル書類ハ地方長官ヲ經由スヘシ

農産物配給改善指導獎勵金交付要項一部改正之件通牒

(昭和五年五月十二日附農第六三九五號)  
農務局長ヨリ各地方長官及帝國農會長宛通牒)

昭和四年六月十九日附農第八〇〇五號ヲ以テ通牒候首題要項中今般左記之通一部改正相成候條御了知「ノ上貴管  
下道(府縣)農會、郡農會ニ示達」相成度依命此段及通牒候也

記 (記ハ農産物配給改善指導獎勵金交付要項ノ通り改正)

農産物配給改善指導獎勵金交付要項

(昭和四年六月十九日附農第八〇〇五號通牒)  
(昭和五年五月十二日附農第六三九五號通牒)

第一 農林大臣ハ農産物ノ配給改善指導ニ關スル施設ヲ獎勵スル爲本要項ニ依リ毎年度豫算ノ範圍内ニ於テ獎勵  
金ヲ交付ス

第二 獎勵金ハ帝國農會、道府縣農會及郡農會ノ左ノ費用ニ對シ之ヲ交付ス

甲 帝國農會ニ於テ左ノ各號ノ一ニ該當スル事項ヲ行フ場合之ニ要スル費用

一 專任職員ノ設置

二 農産物ノ配給改善ニ關スル指導

三 市況、作況及出荷狀況ノ調査及通信

乙 道府縣農會ニ於テ左ノ各號ノ一ニ該當スル事項ヲ行フ場合之ニ要スル費用

一 甲各號ニ掲クル事項

二 郡農會ニ於テ甲各號ニ掲クル事項ヲ行フ場合其ノ經費ニ對スル補助

丙 郡農會ニ於テ甲各號ニ掲クル事項ヲ行フ場合之ニ要スル費用

前項丙ノ費用ニ對スル獎勵金ハ道府縣農會ニ於テ其ノ費用ニ對シ補助金ヲ交付セサル場合ニ限り之ヲ交付スル

コトアルヘシ

第三 獎勵金ノ額ハ第二條第一項甲ノ費用ニ付テハ一萬五千圓以內、同項乙第一號ノ費用ニ付テハ一道府縣農會二千圓以內、同項乙第二號及同項丙ノ費用ニ付テハ一郡農會當五百圓以內トス

第四 獎勵金ノ交付ヲ受ケムトスル者ハ申請書ニ左ノ書類ヲ添附二月末日迄ニ農林大臣ニ提出スヘシ

一 事業計畫書

二 收支豫算書

第五 獎勵金ノ交付ヲ受ケタル者事業計畫及收支豫算ニ重要ナル變更ヲ加ヘムトスルトキハ農林大臣ノ承認ヲ受ケヘシ

第六 獎勵金ノ交付ヲ受ケタル者ハ事業成績書及收支決算書ヲ翌年度六月三十日迄ニ農林大臣ニ提出スヘシ

第七 左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ農林大臣ハ獎勵金ノ全部又ハ一部ノ還付ヲ命ズルコトアルヘシ

一 本要項ニ違反シタルトキ

二 獎勵金交付ノ條件ニ違反シタルトキ

三 事業施行ノ方法不適當ト認メタルトキ

### 下級農會技術員施設獎勵金交付ニ關スル通牒

(大正十五年七月十六日附農第八七二〇號)  
農務局長ヨリ地方長官宛通牒)

年月日

道府縣地方長官宛

下級農會技術員施設獎勵金交付ニ關スル件

今般下級農會技術員設置及養成ニ關スル施設獎勵ノ爲別紙要項ニ依リ獎勵金ヲ交付スルコトト相成候處右ハ農村現下ノ實狀ニ鑑ミ且郡役所廢止後ニ於ケル郡農會ノ狀態ヲモ考慮ニ加ヘ町村農會、市農會及郡農會ニ專任技術員ノ設置ヲ獎勵シ以テ農業者ニ對スル農業上ノ實地指導ノ徹底ヲ期セムトスルノ趣旨ニ有之即從來地方ニ於テ此ノ方面ニ對シテ行ハレタル補助獎勵ヲ以テ足レリトセス更ニ國費ヲ以テ助成ヲ加ヘムトスルモノニ候ヘハ貴道府縣ニ於テモ又貴管下道府縣農會ニ於テモ從來ヨリ一層茲ニ力ヲ致サレムコトヲ期待スル儀ニ有之候故ニ萬一國費助成ヲ機トシテ却テ從來ノ地方的助成金ノ減額ヲ見ルカ如キ事ト相成候テハ全ク本旨ニ反シ遺憾ナルノミナラス多カラサル國費獎勵金交付ノ方針トシテハ寧ロ其ノ獎勵ニ熱心ナル地方ニ之ヲ振向ケ相互協力ノ下ニ適任者ノ設置ヲ先ツ其ノ地方ヨリ實現シ行ク方目的ノ達成ニ遙ニ適切ナリトスル場合モ可有之旁々爲參考本要項中様式第一號及第二號ニ依リ特ニ前年度ニ於テ同一目的ノ爲支出シタル經費ヲ本年度ト比較對照ノ上御報告ヲ相煩ス次第ニ有

之候且又國庫獎勵金ノ交付ニ依リ一時ニ多數ノ農會ニ於テ技術員ノ設置ヲ見ルトキハ限リアル國庫獎勵金（獎勵金ハ總額三十萬千七百圓ニシテ一道府縣ノ區域ニ付設置ニ關スル獎勵金ハ平均五千餘圓養成ニ關シテハ平均千五百圓ニ當ル計算）ヲ以テシテハ到底之ニ應シ難ク堅實ナル普及ヲ見ルコト能ハサルヘク被考候條貴道府縣又ハ貴管下道府縣農會及郡農會ニ於テ計畫ヲ樹テラルルニ當リテハ專任技術員未設置ノ農會ニ對シ大正十五年度以降凡ソ十二ヶ年内ニ普及セシムヘキ計畫ノ下ニ申請相成度様致度尙獎勵金ノ交付ハ同一農會ニ於テ技術員ヲ設置スル場合並道府縣農會又ハ郡農會ニ於テ同一町村農會ニ在勤スル技術員ヲ設置スル場合ハ共ニ三ヶ年限リトスル見込ニ有之候條右御了知ノ上貴管下農會ニモ示達相成同一趣旨ノ下ニ充分御努力有之様致度此段依命通牒候也

追テ本年度ニ限り獎勵金交付申請書ハ八月三十一日迄ニ提出相成度尙別紙要項第四號ニ依ル設備ノ充實擴張等ニ對スル獎勵金ハ其ノ制限ニ依ラス千九百圓ヲ限度トシテ交付スルコトアルヘク技術員養成期間ハ之ヲ短縮スルモ支障無之候條申添候也

下級農會技術員施設獎勵金交付要項中一部改正ノ件通牒

（昭和五年五月二十四日附五農第六九三七號）  
（農務局長ヨリ各地方長官及帝國農會長宛通牒）

大正十五年七月十六日附農第八七二〇號ヲ以テ通牒相成候首題要項中今般左記之通一部改正相成候條御了知ノ上貴管下農會ニモ示達」相成度依命此段及通牒候也

追而本改正ニ依リ囊ニ提出相成候申請書中訂正ヲ要スルモノアラハ六月十五日迄ニ手續取計様致シ度

記（記ハ省略改正下級農會技術員施設交付要項參照）

下級農會技術員施設獎勵金交付要項

大正十五年七月十六日附農第八七二〇號通牒  
昭和二年六月二十九日附農第九四〇三號一部改正  
昭和四年五月十四日附農第六五三六號一部改正  
昭和五年五月二十四日附農第六九三七號一部改正

- 第一 農林大臣ハ下級農會技術員設置及養成ニ關スル施設ヲ獎勵スル爲本要項ニ依リ毎年度豫算ノ範圍内ニ於テ獎勵金ヲ交付ス
- 第二 設置ニ關スル獎勵金ハ技術員ヲ設置スル町村農會市農會及郡農會ニ對シ其ノ經費ニ付之ヲ交付スニケ町村農會以上ノ聯合ニ依リ技術員ヲ設置スル場合亦同シ
- 道府縣農會又ハ郡農會ニ於テ技術員ノ設置ナキ町村農會ニ在勤スル技術員ヲ設置スル場合ハ該經費ニ付其ノ農會ニ對シ之ヲ交付ス道府縣農會ニ於テ技術員ノ設置ナキ市農會又ハ郡農會ニ在勤スル技術員ヲ設置スル場合亦同シ
- 前二項ノ技術員設置ニ關シ道府縣、道府縣農會又ハ郡農會ニ於テ補助金ノ交付ヲ行フ場合ハ獎勵金ハ前二項ニ依ラスシテ左ノ各號ニ依リ之ヲ交付ス
- 一 道府縣農會ニ於テ之ヲ行フ場合ハ其ノ農會ニ對シ交付シ道府縣農會ニ於テ行ハス道府縣ニ於テ之ヲ行フ場合ハ其ノ道府縣ニ對シ交付ス

下級農會獎勵金要項

- 二 前號以外ノ場合ニ於テ郡農會ニ於テ之ヲ行フ場合ハ其ノ郡農會ニ對シ交付ス
- 第三 養成ニ關スル獎勵金ハ專任職員ノ設置ヲ行フ道府縣又ハ道府縣ニ於テ之ヲ行ハサル場合ニ在リテハ之ヲ行フ道府縣農會ニ對シ其ノ經費ニ付之ヲ交付ス
- 養成ニ關スル獎勵金ハ前項ノ道府縣農會カ智識ノ向上、技術ノ熟達ヲ圖ル目的ヲ以テ農會技術員ノ短期養成ヲ行フ場合ニ於テ講師ノ委嘱其ノ他必要ト認ムル事項ノ經費ニ付當該道府縣農會ニ對シ之ヲ交付ス
- 養成ニ關スル獎勵金ハ帝國農會カ下級農會技術員養成ノ爲專任職員ヲ設置スル場合ニ於テ其ノ設置ニ要スル經費ニ付之ヲ交付ス
- 第四 獎勵金ハ左ノ標準ニ依リ之ヲ交付ス
  - 一 設置ニ關スル獎勵金ハ一農會（ニケ町村農會以上ノ聯合ニ依ル場合ニ在リテハ其ノ聯合第二、第二項ノ場合ニ在リテハ技術員ノ設置ナキ町村農會、市農會又ハ郡農會トス以下之ニ同シ）一人限トシ農會ノ支給スル俸給額ノ三分ノ一以內金額二百圓以內トス（第二第三項ノ場合亦之ニ準ス）
  - 二 第三第一項ノ場合ニ在リテハ一道府縣又ハ一道府縣農會一人限、俸給額ノ二分ノ一以內、金額七百圓以內トシ第三第二項ノ場合ニ在リテハ一道府縣農會當金額五百圓以內トシ第三第三項ノ場合ニ在リテハ俸給及旅費額ノ三分ノ二以內（但シ特別ノ事情アルトキハ此ノ割合ヲ增加スルコトアルヘシ）金額二千圓以內トス
  - 第五 第二ニ依リ獎勵金ヲ交付スル場合ニ於ケル技術員ノ設置及設置補助ハ左ノ條件ニ適合スルコトヲ要ス
    - 一 農業者ニ對シ農業上ノ實地指導ヲ行ハシムル爲專任技術員（主トシテ農會技術員ノ職務ニ從事シ他ノ職務

ヲ兼務スルコトアルモ夫ニ依リテ受クル俸給額ガ農會技術員トシテ受クルモノヲ超エサルモノヲモ含ム以下之ニ同シ)ヲ新ニ設置セムトスルモノナルコト(既ニ設置セル技術員ハ大正十五年四月以降ニ於テ廢止シ再ヒ設置シタルモノヲ際ク以下之ニ同シ)但シ郡農會ニ限リ大正十五年度以降三ヶ年内ニ專任技術員ヲ増員シタルモノニシテ右期間ニ申請ヲ爲シタルトキハ之ヲ新ニ新設セルモノト看做ス

二 技術員ハ左ノ一ニ該當スルモノナルコト

(イ) 第七第一項ニ依ル養成課程ヲ了ヘタル者

(ロ) 主要食糧農産物改良増殖獎勵規則ニ依ル農業技術員ノ養成課程ヲ了ヘタル者

(ハ) 舊甲種農業學校卒業者又ハ之ト同等以上ノ學力ヲ有スル者ニシテ農業技術ノ實際ニ熟達セル者但シ專門學校卒業程度以上ノ學力ヲ有セサル者ニアリテハ(イ)及(ロ)ノ資格者ナキ場合ニ限ル

三 道府縣、道府縣農會又ハ郡農會ニ於テ設置補助ヲ爲ス場合ハ前二號ニ依ル外左ニ依ルコトヲ要ス

(イ) 設置補助ヲ爲ス技術員ハ一農會一人限トシ同一農會ニ對シテ補助スルハ三ヶ年限トスルコト但シ第六ノ場合ハ此ノ年限ニ依ラサルコトヲ得

(ロ) 補助金交付額算定ノ場合ニ於テ該技術員カ他ノ職務ヲ兼任スルコトニ依リテ受クル俸給額ハ之ヲ控除スルコト

第六 當該道府縣ニ於ケル技術員設置ノ狀況ニ依リ特別ノ必要アリト認ムル場合ニ於テハ新ニ專任技術員ヲ設要

シタル農會以外ノ農會ニ對シテモ第二ニ依リ獎勵金ノ交付ヲ爲スコトアルヘシ

前項ノ場合ニ於ケル獎勵金交付ノ標準ハ一農會一人限トシ俸給額ノ六分ノ一以內金額五十圓以內トス但シ郡農會ニ在リテハ金額百圓以內ト爲スコトヲ得

第七 第三第一項ニ依リ獎勵金ヲ交付スル場合ニ於ケル技術員ノ養成ハ左ノ條件ニ適合スコトヲ要ス

一 養成ハ主要食糧農産物改良増殖獎勵規則ニ依ル農業技術員養成ト共ニ北海道又ハ府縣農事試驗場若ハ農事講習所ニ於テ行フコト但シ設備ノ狹隘其ノ他ノ事由ニ依リ右獎勵規則ニ依リ技術員養成ト共ニ行フコト能ハサル場合又ハ特ニ其ノ他ノ施設ヲ必要トスル場合ニ於テハ農林大臣ノ承認ヲ受ケ適當ト誌ムル方法ニ依リ行フコトヲ得

二 練習生ハ舊甲種卒業者又ハ之ト同等以上ノ學力ヲ有スル者ニシテ將來農會技術員トシテ適當ト認メラル、モノヲ以テ之ニ充ツルコト但シ右資格者ヲ得ルコト困難ナル場合ニ於テハ農林大臣ノ承認ヲ受ケ右資格ヲ有セサル者ヨリ之ヲ補充スルコトヲ得

三 養成期間ハ一ヶ年以上二ヶ年以下タルコト

四 教授科目ニハ農業技術ノ實際ニ熟達セシムル爲ニスルモノノ外地方ノ狀況ニ依リ特ニ農會技術員トシテ必要ナルモノヲ加フルコト

前項ノ養成ヲ行フ場合ニ於テハ道府縣又ハ道府縣農會ハ其ノ施設計畫(養成人員、教授科目等)ニ關シ互ニ打合ヲ爲スコトヲ要ス



第三ノ短期養成ヲ受クル者ハ現ニ農會技術員トシテ在職スル者ニ限ル

第八 勵獎金ノ交付ヲ受ケムトスル者ハ申請書ニ左ノ書類ヲ添ヘ二月末日迄ニ之ヲ農林大臣ニ提出スヘシ(道府縣又ハ道府縣農會カ設置ニ關スル獎勵金ノ交付ヲ申請スル場合ハ正副ヲ提出スルコトヲ要ス)

一 收支豫算書(様式第一號ニ依ルコトヲ要ス但シ第三第三項ノ場合ハ様式第一號乙(一)ニ準スルコトヲ要ス)並國庫、地方費其ノ他ヨリ補助アル場合ハ其ノ金額及内譯ヲ記載シタル書類(第二第一項及第二項ノ場合ハ新設及新設以外ニ對スルモノトニ別チ各其ノ内譯書、同第三項ノ場合ハ様式第二號ニ依ル内譯書第三ノ場合ハ地方費其ノ他ヨリノ補助金ノ支出、種目別内譯書)

二 第二第一項ノ場合ヲ除クノ外事業計畫書(第三第一項ノ場合ハ様式第三號ニ依リ同第二項ノ場合ハ之ニ準スルコトヲ要ス)

三 第二第二項及第三項並第三第一項ノ場合ハ下級農會技術員設置及養成ニ關スル規程並郡農會、市農會及町村農會技術員ノ普及狀況ヲ記載シタル書類

道府縣及道府縣農會共ニ同一事項ニ付同一施設ヲ爲サムトスル場合ハ豫メ協議ヲ調ヘ申請ヲ爲スコトヲ要ス

第九 事業計畫及收支豫算ヲ變更セムトスルトキハ農林大臣ノ承認ヲ受クヘシ

第十 獎勵金ノ交付ヲ受ケタル者獎勵金ノ全部ヲ當該年度内ニ支出スルコト能ハサルトキハ其ノ殘額ヲ翌々年度ニ於テ行フ同一ノ事業ニ對シ支出スル義務アルモノトス但シ支出スヘキ見込ナキ場合ニ於テハ農林大臣ハ其ノ金額ノ還付ヲ命スルコトアルヘシ

前項ノ規定ハ第二第三項ニ依リ獎勵金ノ交付ヲ受ケタル者其ノ交付シタル補助金ノ還付ヲ受ケタル場合ニ於テ其ノ金額中獎勵金ニ相當スル金額ヲ其ノ還付ヲ受ケタル年度ニ於テ支出セムトスル場合ニ之ヲ準用ス  
特別ノ事由ニ依リ前二項ノ金額ヲ本要項ノ範圍内ニ於テ前二項ニ依ラスシテ處分セムトスルトキハ農林大臣ノ承認ヲ受クヘシ

第十一 左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ農林大臣ハ獎勵金ノ全部又ハ一部ノ還付ヲ命スルコトアルヘシ

一 本要項ニ違反シタルトキ

二 獎勵金交付ノ條件ニ違反シタルトキ

三 事業施行ノ方法不適當ト認メタルトキ

第十二 獎勵金ノ交付ヲ受ケタル者ハ事業成績書及式様第一號ニ依ル收支決算書ヲ翌年度七月三十一日迄ニ農林大臣ニ提出スヘシ

第十三 獎勵金ニ關シ道府縣農會其ノ他ノ農會ヨリ農林大臣ニ提出スル書類ハ地方長官ヲ經由スヘシ

種目	収入之部		増減	備考
	本年度豫算額 (決算額)	前年度豫算額 (豫算額)		
國庫補助金				
農會經費ヨリノ 繰入金				
繰越金				

(二) 要項第二第二項ニ依ル場合ノ收支豫算書(收支決算書)

△注意 ニケ町村農會以上ノ聯合ニ依リ技術員ヲ設置スル場合ニ於テハ收入豫算ニ於テ各農會ノ負擔金ヲ明記スルコト

種目	俸給		増減	備考
	本年度豫算額 (決算額)	前年度豫算額 (豫算額)		
計				

様式  
第一號

甲 設置ニ關スル收支豫算書(收支決算書)

(一) 要項第二第一項ニ依ル場合ノ收支豫算書(收支決算書)

種目	収入之部		増減	備考
	本年度豫算額 (決算額)	前年度豫算額 (豫算額)		
國庫補助金				
農會經費ヨリノ 繰入金				
繰越金				
計				
支出之部				

項要金勵獎會農級下

種目	収入之部			考
	本年度豫算額 (決算額)	前年度豫算額 (豫算額)	増減備	
國庫補助金				
地方費ヨリノ 繰入金				
地方費補助金				

(三) 要項第二第三項ニ依ル場合ノ收支豫算書(收支決算書)

合計	新設以外 ノモノ	計	新設三年目	新設二年目

種目	支出之部		増減備	考
	本年度豫算額 (決算額)	前年度豫算額 (豫算額)		
町村農會在勤 技術員設置費				
郡市農會在勤 技術員設置費				
計				

△注意 支出之部ニ付テハ附表ニ依リ其ノ内譯ヲ明記スルコト  
附表 町村(市)(郡)農會在勤技術員設置費内譯

區別	設置費内譯		設置技術員數		俸給總額 (農會ヨリノ支給額)	備考
	本年度豫算額 (決算額)	前年度豫算額 (豫算額)	本年度	前年度		
新設一年目						

項要金勵獎會農級下

△注意 町村農會技術員設置補助費市農會技術員設置補助費及郡農會技術員設置補助費ノ内譯ヲ各別表ニ作成スルコト

區別	補助費内譯		補助技術員數		俸給總額		備考
	本年度豫算額 (決算額)	前年度豫算額 (豫算額)	本年度	前年度	本年度豫算額 (決算額)	前年度豫算額 (豫算額)	
新設一年目							
新設二年目							
新設三年目							
計							
新設以外 ノモノ							
合計							

附表 町村(市)農會技術員設置補助費内譯  
 會經費ヨリノ繰入金ノ目ハ道府縣農會又ハ郡農會ニ於テ行フ場合ニ之ヲ記載スルコト  
 二 支出之部ニ付テハ各種目ノ内譯ヲ附表ニ依リ明記スルコト

項要金勵獎會農級下

△注意 一 收入之部ニ付テハ地方費ヨリノ繰入金ノ目ハ道府縣ニ於テ行フ場合ニ、地方費補助金ノ目及農

種目	支出之部		備考
	本年度豫算額 (決算額)	前年度豫算額 (豫算額)	
町村農會技術員設置補助費			
市農會技術員設置補助費			
郡農會技術員設置補助費			
計			

農會經費ヨリノ繰入金ノ繰越金

乙 養成ニ關スル收支豫算書(收支決算書)

(一) 要項第三第一項ニ依ル場合ノ收支豫算書(收支決算書)

種 目	收入ノ部		増	減	備	考
	(本年度豫算額) (決算額)	(前年度豫算額) (豫算額)				
國庫補助金						
地方費ヨリノ 繰入金						
地方費補助金						
農會經費ヨリノ 繰入金						
繰越金						
計						
支出ノ部						
計						

種 目	收入ノ部		増	減	備	考
	(本年度豫算額) (決算額)	(前年度豫算額) (豫算額)				
計						
専任職員俸給						
旅 費						
練習生手當						
講師委囑費						
計						

△注意 收入ノ部ニ付テハ地方費ヨリノ繰入金ノ目ハ道府縣、ニ於テ行フ場合ニ地方費補助金ノ目及農會經費ヨリノ繰入金ノ目ハ道府縣農會ニ於テ行フ場合ニ之ヲ記載スルコト

(二) 要項第三第二項ニ依ル場合ノ收支豫算書(收支決算)

第二號

設置ニ關スル國庫(地方費)(其ノ他ノ)補助金

種別	本年度豫定額	前年度交付額	増減	備考
一 町村農會技術員費ニ對スル補助金 (ロイ) 新設ニ對シ 新設以外ニ對シ				
二 市農會技術員費ニ對スル補助金 (ロイ) 新設ニ對シ 新設以外ニ對シ				
三 郡農會技術員費ニ對スル補助金 (ロイ) 新設ニ對シ 新設以外ニ對シ				

雜費	計

種目	支出之部			備考
	(本年度豫算額)	(前年度豫算額)	増減	
講師委囑員				
會場借入費				
備入料				
計				
國庫補助金				
地方費補助金				
農會經費ヨリノ繰入金				
繰越金				

合	計				
(イ)	新設ニ對シ				
(ロ)	新設以外ニ對シ				

△注意 國庫補助金、地方費補助金及其ノ他ノ補助金ノ額及内譯ヲ各別表ニ作成スルコト

第三號

養成ニ關スル事業計畫書

一 養成方法ノ大要

.....

二 養成ノ場所

.....

三 養成設備ノ大要

.....

四 養成人員

.....人 (主要食糧農産物改良増殖獎勵規則ニ依ル養成人員何人ヲ附記スルコト)

五 養成期間

.....年

六 擔任講師(官職氏名)

教授科目 時間 數

七 練習生ノ資格

.....

八 練習生一人當支給額

.....圓

下級農會技術員施設獎勵金交付ニ關スル通牒

(昭和三年一月十八日附農局第九六號)  
農務局長ヨリ各地方長官宛通牒)

客年六月二十九日附二農局第九四〇三號ヲ以テ標記ノ件ニ關シ通牒致置候處右獎勵金ノ交付申請並決算報告ニ際シテハ爾今左記ノ通取計度此段及通牒候也

追而此旨貴道府縣農會長ヘモ示達相成度申添候也

記

- 一 獎勵金ノ全部ヲ當該年度内ニ支出スルコト能ハサルトキハ交付要項第十二依リ其ノ殘額ノ繰越ヲ要シ或ハ還付ヲ命ゼラルルコトアルニ依リ之カ申請ニ當リテハ從來ノ實蹟ニ徴シ可成實數ニ近ク計畫ヲ樹テ豫算ヲ計上スルコト
- 二 様式中第一號甲(三)ノ附表ハ郡、市、町村農會毎ニ別表ニ作製スルヲ要スルモ尙之ヲ總括シタルモノヲ同一様ニ式依リ別表添付スルコト
- 三 設置ニ關スル決算報告ノ際ハ要項第十二ニ依ルノ外左記書類ヲ添付スルコト

記 (補助金交付農會名)

補助金交付農會名	(附)新設既設別年度	俸給決算額	補助決算額	備	考
計					

計ハ郡市、町村及新設既設別トセラレ度





- 二 助成金交付ノ條件ニ違反シタルトキ
- 三 事業施行ノ方法不適當ト認メタルトキ
- 四 支出額カ豫算額ニ達セサルトキ

肥料配給改善助成規則

(昭和五年八月一日) 農林省令第四號

肥料配給助成規則

- 第一條 農林大臣ハ肥料ノ配給改善ヲ圖ル爲本則ニ依リ毎年度豫算ノ範圍内ニ於テ助成金ヲ交付ス
- 第二條 助成金ハ全國ヲ區域トスル購買組合聯合會(以下全國購買組合聯合會ト稱ス)、道府縣ヲ區域トスル購買組合聯合會(以下道府縣購買組合聯合會ト稱ス)、購買組合、郡農會、市農會、町村農會其ノ他農林大臣ノ適當ト認ムル團體ノ左ニ掲グル費用ニ對シ之ヲ交付ス
  - 一 全國購買組合聯合會ノ役員又ハ職員ニシテ専ラ肥料配給ノ業務ヲ擔當スルモノノ設置ニ要スル費用
  - 二 全國購買組合聯合會ノ肥料配合所又ハ其ノ附屬設備ノ新設、増設、改設又ハ買入ニ要スル費用
  - 三 道府縣購買組合聯合會ノ職員ニシテ専ラ肥料配給ノ業務ヲ擔當スルモノノ設置ニ要スル費用
  - 四 購買組合、郡農會、市農會、町村農會其ノ他農林大臣ノ適當ト認ムル團體ノ肥料配合ニ必要ナル器具機械ノ設置ニ要スル費用
- 第三條 助成金ノ額ハ前條ノ費用ノ二分ノ一以内トス但シ前條第四號ノ費用ニ對スル助成金額ハ一箇所分千圓ヲ超エサルモノトス
- 第四條 助成金ノ交付ヲ受ケムトスル者ハ申請書ニ左ノ書類ヲ添附シ二月末日迄ニ農林大臣ニ之ヲ提出スヘシ
  - 一 事業計畫書

二 第二條ノ費用ノ豫算書

第二條第二號又ハ第四號ノ費用ニ對スル助成金ノ交付ヲ受ケントスル者ハ前項ノ書類ノ外設備ノ要領書ヲ添付スヘシ

前二項ノ書類ノ外農林大臣ハ必要ト認ムル書類ノ提出ヲ命スルコトアルヘシ

第五條 助成金交付ノ指令ヲ受ケタル者前條第一項各號又ハ同條第二項ノ書類ニ記載シタル事項ニ重大ナル變更ヲ加ヘントスルトキハ農林大臣ノ承認ヲ受クヘシ

第六條 第二條第一號又ハ第三號ノ費用ニ對スル助成金ノ交付ヲ受ケタル者ハ費用ノ精算書ヲ翌年度四月三十日迄ニ農林大臣ニ提出スヘシ

第七條 第二條第二號又ハ第四號ノ費用ニ對スル助成金交付ノ指令ヲ受ケタル者助成金ノ交付ヲ請求セントスルトキハ第二條第二號ノ設備ニ在リテハ工事ノ全部若ハ一部ノ終了後又ハ物件買入終了後、第二條第四號ノ設備ニ在リテハ設置完成後費用ノ精算書ヲ添附シ請求書ヲ農林大臣ニ提出スヘシ

第八條 第二條第二號又ハ第四號ノ費用ニ對スル助成金ノ交付ヲ受ケタル者ハ第四條第一項第一號ノ事業計畫書ニ記載シタル目的及用途ニ從ヒ設備ヲ使用スルコトヲ要ス

特別ノ事由ニ因リ前項ノ目的又ハ用途ヲ變更セントスルトキハ農林大臣ノ承認ヲ受クヘシ設備ニ重大ナル變更ヲ加ヘ又ハ設備ヲ廢棄シ若ハ讓渡セントスルトキ亦同シ

第九條 第二條第二號又ハ第四號ノ費用ニ對スル助成金ノ交付ヲ受ケタル者ハ設備滅失シ又ハ使用スルコト能ハ

サルニ至リタルトキハ遲滯ナク其ノ旨ヲ農林大臣ニ届出ツヘシ

第十條 助成金ノ交付ヲ受ケタル全國購買組合聯合會又ハ道府縣購買組合聯合會ハ毎月ノ肥料配給ニ關スル事業ノ狀況ヲ翌月十五日迄ニ農林大臣ニ報告スヘシ

第十一條 助成金ノ交付ヲ受ケタル者ハ事業年度經過後遲滯ナク財産目錄、貸借對照表、事業報告書及剩餘金處分書(産業組合及産業組合聯合會以外ノ團體ニ在リテハ收支決算書及事業報告書)ヲ農林大臣ニ提出スヘシ

第十二條 農林大臣又ハ地方長官ハ必要アリト認ムルトキハ助成金ノ交付ヲ受ケタル者ニ對シ何時ニテモ其ノ事業ニ關スル報告ヲ爲サシメ書類、帳簿又ハ事業施行若ハ財産ノ狀況ヲ検査シ其ノ他監督上必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第十三條 第二條第二號又ハ第四號ノ費用ニ對スル助成金ノ交付ヲ受ケ設置シ又ハ買入レタル設備ノ承繼人ハ第八條、第九條、第十一條、前條及第十六條ノ規定ノ適用ニ付テハ之ヲ助成金ノ交付ヲ受ケタル者ト看做ス

第十四條 第八條、第九條、第十一條及第十二條ノ規定ニ依ル義務ノ存續期間ハ第二條第二號ノ費用ニ對スル助成金ノ交付ヲ受ケタル者ニ在リテハ助成金交付ノ日ヨリ十年間、第二條第四號ノ費用ニ對スル助成金ノ交付ヲ受ケタル者ニ在リテハ助成金交付ノ日ヨリ三年間トス

第十五條 全國購買組合聯合會ヨリ提出スヘキ書類ヲ除クノ外本則ニ依リ農林大臣ニ提出スヘキ書類ハ地方長官ヲ經由スヘシ

第十六條 助成金交付ノ指令ヲ受ケタル者又ハ助成金ノ交付ヲ受ケタル者左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ

農林大臣ハ助成金交付ノ指令ヲ取消シ又ハ既ニ交付シタル助成金ノ全部若ハ一部ノ還付ヲ命スルコトアルヘシ

- 一 本則ノ規定又ハ本則ノ規定ニ依ル處分ニ違反シタルトキ
- 二 助成金交付ノ條件ニ違反シタルトキ
- 三 事業施行ノ方法不適當ト認メタルトキ
- 四 支出額ガ豫算額ニ比シ著シク減少シタルトキ

附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第四條中二月末日迄トアルハ昭和五年度ニ限り九月三十日迄トス

肥料ノ配給改善助成ニ關スル件

(昭和五年八月一日農第一〇二一九號)  
農務局長ヨリ各地方長官ヘ通牒

農業生産必須ノ資源ニシテ農家經濟上極メテ重要ノ地位ニ在ル肥料ニ關シ其ノ配給改善ノ施設ヲ講スルハ現下農村ノ實情ニ鑑ミ最緊要ナル事項ニ有之政府ハ本年度ヨリ相當豫算ヲ計上シ主トシテ産業組合ノ系統ニ依ル肥料配給改善ノ計畫ヲ樹テ今回之カ實施ノ爲肥料配給改善助成規則ヲ制定公布相成候ニ付テハ左記事項御了知ノ上本目的達成ノ爲特ニ御配意相成度依命此段及通牒候也

追而本件ニ關スル事務ハ其ノ性質上地方廳ニ於ケル肥料獎勵及産業組合ノ事務トノ關係極メテ密接ナルモノアルヲ以テ特ニ是等事務トノ間ニ於ケル連絡協調ニ御留意相成度爲念申添候

記

- 一 肥料配給改善助成規則第二條第三號ノ費用ニ對スル助成金ハ一道府縣購買組合聯合會ニ付二人以内ノ專任職員ノ俸給及旅費ニ對シ之ヲ交付スルモノトス
- 二 前項ノ職員ニシテ俸給年額千二百圓ヲ超ユルモノハ左ノ各號ノ一ニ該當スル者タルコトヲ要ス
  - イ 産業組合又ハ産業組合聯合會ノ役職員トシテ三年以上主トシテ購買事業ノ事務ニ従事シ月額八十五圓以上ノ俸給ヲ受ケタル者
  - ロ 一年以上奏任官待遇以上ノ職ニ在リ又ハ三年以上判任官待遇以上ノ職ニ在リテ主トシテ産業組合ニ關スル

- 事務又ハ肥料ノ取締若ハ獎勵ノ事務ニ従事シ月額八十五圓以上ノ俸給ヲ受ケタル者
- ハ 五年以上肥料取引ニ關スル事務ニ従事シ月額八十五圓以上ノ俸給ヲ受ケタル者
- ニ 前各號ニ準スル者
- 三 第一項ノ職員ノ命免ニ付テハ道府縣購買組合聯合會ハ豫メ農務局長ニ打合ヲ爲スコトヲ要ス
- 四 肥料配給改善助成規則第二條第四號ノ費用ニ對スル助成金ハ動力機、粉碎機、粉末機、秤量器等ノ購入費、荷造運搬費及据附費、電氣内線工事費並ニ動力傳導裝置費ニ對シ之ヲ交付スルモノトス
- 五 肥料配給改善助成規則第二條第四號ノ費用ニ對スル助成金交付申請書ニ添附スヘキ事業計畫書、費用豫算書及設備要領書ハ別紙様式ニ依ルコトヲ要ス
- 六 地方長官助成金交付申請書ヲ受理シタルトキハ事業計畫書其ノ他ノ添附書類ニ付其ノ適否ヲ調査ノ上意見ヲ附シ尙肥料配給改善助成規則第二條第四號ノ費用ニ對スル申請書ニ付テハ順位ヲ定メテ之ヲ進達スルモノトス
- 七 肥料配給改善助成規則第二條第四號ノ設備ノ設置完成シタルトキハ地方長官ハ其ノ指定スル者ヲシテ設備及費用ニ付實地検査ヲ行ハシメ其ノ検査報告書ヲ助成金交付請求書及費用精算書ト共ニ進達スルモノトス
- 八 肥料配給改善助成規則第二條第四號ノ費用ニ對スル助成金交付請求書ニ添附スヘキ費用精算書ハ別紙様式中ノ費用豫算書ノ様式ニ準シ之ヲ作成スルコトヲ要ス

- 様式 事業計畫書
- 一 事業主體ノ概況
    - イ 地區
    - ロ 團體員ノ職業別數及地區内ニ於ケル農業者ノ數
    - ハ 肥料ニ關スル事業ノ狀況
    - ニ 前號以外ノ主ナル事業ノ概要
    - ホ 財務狀況
  - 二 前項イ號ノ地區内ニ於ケル肥料ノ需給及取引ノ狀況
  - 三 肥料配合設備設置ノ理由
  - 四 肥料配合設備ニ依リ配合シタル肥料ノ配給區域及配給ヲ受クヘキ者ノ數
  - 五 肥料配合設備ニ依リ配合セントスル肥料ノ種類別見込數量
  - 六 肥料配合設備ニ依リ配合セントスル肥料ノ原料ノ種類及配合割合ノ決定方法
  - 七 肥料配合設備ニ依リ配合シタル肥料ノ賣渡價格ノ決定及其ノ代金ノ徵收方法
  - 八 肥料配合事業ノ起業費ノ收支概算
  - 九 肥料配合事業ノ收支概算



- 四 器具機械ノ種類、名稱、員數及能力
- 五 電氣内線工事及動力傳導裝置ノ概要
- 六 起工豫定年月日
- 七 完成豫定年月日

備考

- 一 敷地内ニ於ケル建物ノ位置及器具機械等ノ配置ヲ示シタル圖面並ニ敷地附近ノ概況圖ヲ添附スルコト
- 二 建物及器具機械ニ付テハ既設又ハ新設ノ別ヲ明ニスルコト
- 三 第四項及第五項ノ記載ニ付テハ助成金ノ交付ヲ受ケントスルモノト然ラザルモノトノ別ヲ明ニスルコト

### 菜種改良増殖獎勵交付金要項

- 第一 農林大臣ハ菜種ノ改良増殖ヲ獎勵スル爲本要項ニ依リ毎年度豫算ノ範圍内ニ於テ獎勵金ヲ交付ス
- 第二 獎勵金ハ左ニ掲クル道府縣又ハ道府縣農會ノ費用ニ對シ道府縣又ハ道府縣農會ニ之ヲ交付ス但シ同一事項ニ對シ國府ヨリ補助金又ハ之ニ準スルモノノ交付ヲ受ケル場合ハ此ノ限ニ在ラス
  - 一 道府縣ニ於テ専ラ菜種ノ改良増殖獎勵ニ關スル事務ニ從事スル技術員ノ設置ニ要スル費用
  - 二 道府縣又ハ道府縣農會ニ於テ行フ菜種採種圃ノ經營其ノ他菜種増殖獎勵ニ關スル事業ニシテ農林大臣ノ適當ト認ムルモノニ要スル費用
- 第三 第二第一號ノ技術員ハ地方農林技師、農林技手又ハ地方官官制第二條ニ依リ設置スル技手タルコトヲ要ス
- 第四 第二第二號ノ採種圃ニ於テ用フル品種ハ府縣又ハ府縣農會ニ在リテハ當該府縣立農事試驗場ニ於テ、北海道又ハ北海道農會ニ在リテハ農林大臣ノ適當ト認ムル機關ニ於テ左ノ各號ノ一ニ該當スル品種ニ付適當ト認ムル方法ニ依リ施行シタル比較試驗ノ結果之ヲ優良ト認メタルコトヲ要ス但シ當分ノ内北海道廳長官又ハ府縣知事ニ於テ特ニ優良ト認メタルモノヲ用フルヲ妨ケス
  - 一 農林省農事試驗場ニ於テ育成シ優良ト認メ配付シタルモノ
  - 二 農林省ノ指定ニ依リ菜種試驗ヲ施行スル地方農事試驗場ニ於テ育成シ優良ト認メ配付シタルモノ

三 地方農事試驗場(北海道ニ在リテハ農林大臣ノ適當ト認ムル機關)ニ於テ系統分離又ハ人工交配ニ依リ育成シタルモノ

第五 獎勵金ハ左ノ標準ニ依リ之ヲ交付ス

- 一 第二第一號ノ技術員ニ關シテハ一道府縣ニ付一人ヲ限り俸給及旅費ノ二分ノ一以內但シ千圓ヲ限度トス
- 二 第二第二號ノ費用ニ對シテハ道府縣及道府縣農會ヲ通シ一道府縣ノ區域ニ付八百圓ノ限度內ニ於テ一反歩ニ付三十圓以內トシ同號中採種圃經營ニ對スル費用ニ付テハ六百圓ヲ限度トス

第六 獎勵金ノ交付ヲ受ケントスル道府縣又ハ道府縣農會ハ申請書ニ左ノ書類ヲ添付シ前年度二月末日迄ニ農林大臣ニ之ヲ提出スヘシ

一 事業計畫書(様式第一號ニ依ルコト)

二 收支豫算書(様式第二號ニ依ルコト)

第七 獎勵金ノ交付ヲ受ケタル道府縣又ハ道府縣農會第六ノ書類ニ記載シタル事項ニ重要ナル變更ヲ加ヘントスルトキハ農林大臣ノ認可ヲ受クヘシ

第八 獎勵金ノ交付ヲ受ケタル道府縣又ハ道府縣農會ハ左ノ書類ヲ翌年度六月三十日迄ニ農林大臣ニ提出スヘシ

一 事業成績書(様式第三號ニ依ルコト)

二 收支決算書(様式第二號ニ依ルコト)

第九 道府縣又ハ道府縣農會ハ其ノ交付ヲ受ケタル獎勵金ノ一部ヲ當該年度內ニ支出スルコト能ハサルトキハ之ヲ事業ト共ニ當該年度後ニ繰越シ支出スルコトヲ得前項ニ依リ獎勵金ヲ繰越サントスルトキハ豫メ事由ヲ詳具シ農林大臣ノ認可ヲ受クヘシ

前二項ノ規定ニ依リ繰越ヲ爲シタルトキハ翌年度四月十五日迄ニ農林大臣ニ之ヲ報告スヘシ

第十 左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ農林大臣ハ既ニ交付シタル獎勵金ノ全部又ハ一部ノ還付ヲ命スルコトアルヘシ

一 本要項又ハ獎勵金交付ノ條件ニ違反シタルトキ

二 事業施行ノ方法不適當ト認メタルトキ

三 支出額カ豫算額ニ比シ著シク減少シタルトキ



様式  
第一號

事業計畫書

甲 第二第一號ノ技術員ニ關スル事項

業務ノ計畫大要

官職、氏名、現在俸給及履歴ノ大要(在勤廳又ハ場所明記ノコト)

乙 第二第二號ノ採種圃經營ニ關スル事項

- 一 優良品種増殖普及計畫並ニ之等事業ノ經營組織及其ノ狀況ノ大要
- 二 採種圃ノ經營機關
- 三 採種圃ノ經營方法
- 四 採種圃ノ所在地別作付面積(田畑別)
- 五 採種圃ニ用フル品種ノ名稱並ニ其ノ育成方法
- 六 採種圃ニテ生産スル種子ノ配付豫定

採種圃ヨリ配付スル品種名	栽培	現況	配付	豫定
	面積	面積	面積	面積
現在栽培面積	對スル見込割合	配付量	配付方法	配付時期

反	%	石	反

七 以上ノ外必要ナル事項

注意 採種圃經營ニ關スル事項ハ播種年度ニ依リ記載スルコト

第二號

收支豫算書(收支決算書)

收入ノ部

(一) 第二第一號ノ技術員ニ關スルモノ

料目	本年度豫算額 (決算額)	前年度豫算額 (豫算額)	増	減	備考
國庫獎勵金	円	円			
道府縣負擔額					

菜種獎勵要項





### 菜種改良増殖獎勵金交付取扱方法

(昭和五年七月十九日農局第二一八七號農務局長通牒)

- 一 技術員ノ設置ニ關スル費用ニ付テハ一道府縣ノ區域ニ於テ作付面積五反歩以上ノ菜種採種圃ヲ經營スル場合ニシテ且技術員設置前年度ニ於ケル菜種作付面積一千町歩以上ヲ有スル場合トス
- 二 採種圃ノ經營ニ關スル費用ニ付テハ作付面積一反歩以上ノ場合トス

附

録

農會選舉ニ關スル指示事項ノ事例

◎農會選舉日程 (日程ハ模範會則ニ依リ作製  
便宜四月一日總代選舉トセリ)

町村農會

- 總代選舉人名簿調製 (選舉期日六十日前)
- 選舉人名簿縱覽公告
- 選舉人名簿縱覽期間 (選舉期日前四十日ヲ期トシ其ノ日ヨリ十四日間)
- 選舉人名簿異議申立期日 (縱覽期間經過後十日迄)
- 選舉執行公告 (少ナクモ七日前)
- 選舉立會人ノ選定
- 總代選舉執行
- 當選通知
- 當選辭退期日 (通知ヲ受ケタル日ヨリ(四月二日トス)五日以内)
- 選舉異議申立期日
- 當選公告並府縣ヘノ報告
- 當選異議申立期日 (當選公告後七日以内)

一月三十一日現在  
 二月十五日頃  
 自二月二十日  
 至三月五日  
 三月十五日迄  
 三月二十四日前  
 三月二十七日頃  
 四月一日日  
 即日  
 四月七日日  
 四月八日迄  
 四月八日  
 四月十五日迄

總代會招集(少クモ七日前)

役員、議員選舉ニ關スル總代會

豫備議員選舉ニ關スル總代會

役員選任ノ件知事へ報告(施行規則第三十六條)

議員及豫備議員ヲ郡農會へ報告

郡 農 會

總會招集(少クモ十四日以前)

役員、議員選舉ニ關スル總會

豫備議員選舉ニ關スル總會

役員選任ノ件知事へ報告(施行規則第三十六條)

議員豫備議員ヲ道府縣農會へ報告

四月十六日

四月二十四日

即日

即日

五月一日

五月十六日

即日

即日

即日

◎總代選舉人名簿調製ニ關スル件

市町村農會總代選舉人名簿ハ昭和二年一月三十一日(選舉期日六十日前)ヲ以テ其ノ日ノ現在ニ依リ選舉人ノ資格ヲ調査シ之ヲ調製スレハ四月一日其ノ選舉會ヲ執行スルコトヲ得ヘシ而シテ之カ資格ハ農會法第十一條ノ會員資格ヲ具備スレハ足レリトスルモ之レヲ例示スレハ

- 1 其ノ地區内ニ於テ耕地牧場又ハ原野ヲ所有スル者
  - 2 其ノ地區内ニ居住セサルモ耕地、牧場又ハ原野ヲ其ノ地區内ニ所有スル者
  - 3 其ノ地區内ニ於テ農業ヲ營ム者
  - 4 其ノ地區内ニ居住セサルモ其ノ地區内ニ於テ農業ヲ營ム者
  - 5 假令未成年者、女子又ハ一戸ヲ構ヘストモ其ノ地區内ニ於テ耕地、牧場又ハ原野ヲ所有スル者
  - 6 其ノ地區内ニ在ル耕地牧場又ハ原野ノ質權ヲ有シ自ラ農業ヲ營ム者
  - 7 耕地、牧場及原野ノ所有者ニ非サルモ民法第一千一條ニ依ル遺產相續ヲ爲ス者
- ノ如キモノニシテ施行規則第一條該當左記農業ノミヲ營ム者ハ之ヲ除外スルモノトス
- 1 一反歩未滿ノ他人ノ土地ニ於テ行フ耕種
  - 2 一ヶ年ヲ通シテ框製蠶種四枚未滿又ハ之ニ相當スル蠶種ヲ掃立テテ行フ養蠶
  - 3 前二號ニ掲クルモノヲ併セ行フ農業
- 名簿様式ハ從來何等規定シタルモノ無之モ會員名簿ヲ使用セサル場合ハ左記様式ニ依リ調製スルヲ便宜トシ概シ

テ左ノ諸點ニ付注意スルヲ要ス  
名簿様式

番 號	會 員		法 定 代 理 人		代 會 則 理 第 九 條 人		備 考	
	氏 名 又 ハ 稱	生 年 月 日	住 所	資 格	氏 名	住 所		氏 名

調製上ノ注意

- 1 住所其ノ他ノ調査ハ凡テ名簿調製期日ノ現在ニ依ルコト
- 2 選舉資格調査ハ公簿調査ニ據ルコト
- 3 名簿ハ大字番地順ニ記載スルヲ便トス
- 4 會員資格欄ハ「耕地所有」「耕種」或ハ「耕地所有  
耕種」等明記ノコト
- 5 未成年者、禁治産者ニ就キテハ法定代理人ヲ調査記載シ置クコト
- 6 共有地ハ代表者名ヲ會員欄ニ記入シ其ノ旨備考欄ニ記載ノコト
- 7 名簿末尾ニ選舉人ノ總數ヲ附記スヘキモノトス
- 8 名簿ヲ調製シタルトキハ末尾ニ左ノ如ク記載ス

本名簿ハ昭和二年一月三十一日ノ現在ニ依リ之ヲ調製シタリ

何 市 村 農 會 長 印

◎選舉人名簿ノ縦覽ニ關スル件

選舉人名簿ハ昭和二年二月二十日ヨリ三月五日迄十四日間(會則第三十一條參照)毎日午前十時ヨリ午後四時迄農會事務所ニ於テ關係者ノ縦覽ニ供スヘキモノトス

此ノ縦覽公告ハ會則第六條ノ公告式ニ依リ二月十五日頃迄ニ爲スヲ適當トス尙公告文例概ネ左ノ如クシテ可ナラ

公告第 號

昭和二年一月三十一日現在調製本會總代選舉人名簿二月二十日ヨリ三月五日迄十四日間毎日午前十時ヨリ午後四時迄本會事務所ニ於テ關係者ノ縦覽ニ供ス  
昭和二年二月十五日

何市町村農會長氏名

而シテ名簿縦覽期間中ハ日曜、休日ニ相當スルモ名簿ノ縦覽ハ之ヲ許可スヘキモノニ付注意スヘク又名簿ノ縦覽ヲ終リタルトキハ其ノ末尾ニ次ノ如ク記載ス

本名簿ハ昭和二年二月二十日ヨリ十四日間本會事務所ニ於テ之ヲ關係者ノ縦覽ニ供シタリ  
何市町村農會長氏名

◎名簿ノ修正ニ關スル件

選舉人名簿ニ關シ關係者ニ於テ異議アルトキハ縦覽期間經過後十日迄ニ之ヲ會長ニ申出ツルコトアルヲ以テ此ノ  
場合會長ハ直ニ其ノ決定ヲ爲スヲ要ス(會則第三十一條參照)而シテ會長決定ノ結果名簿ノ修正ヲ要スルトキハ直  
ニ修正ヲ加ヘ其ノ年月日及事由ヲ欄外ニ記載シ會長之ニ捺印スルヲ妥當トス  
尙名簿ヲ修正シタルトキハ直ニ其ノ要領ヲ公告スヘキモノトス

(様式)

昭和何年何月何日 住所

異議申立人 氏名

何市町村農會長殿

異議申立書

昭和何年何月何日ノ現在ニヨリ調製セラレタル本市(町村)農會總代選舉人名簿中左記ノ通脫漏(資格ヲ有セサル  
者)ト認メ候ニ付相當御調査ノ上名簿御登載(抹消)相成度此段申請候也

記

選舉人名簿脫漏

氏名

(資格ヲ有セサル者)

選舉人名簿異議申立ニ對スル決定

氏名

(様式)

何郡市町(村)

異議申立人 氏名

右異議申立人ハ本市(町村)農會總代選舉人名簿ニ左記人名脫漏(無資格)ニ對スル異議申立ニ付左記ノ通り決定  
スルモノトス

記

決 定 事 項	氏 名
會員タル資格ヲ有セス	何 某
本市(町)内ニ於テ田畑何反歩ヲ所有シ無資格ニアラス	何 某

△注意 異議申立ヲ受理シタル場合ハ會長ハ評議員ノ意見ヲ徵シ會則ノ定ムル期間内ニ之ヲ決定スルコト

(様式)

告 示

昭和何年何月何日現在ニ依リ調製シタル本市(町村)農會選舉人名簿ニ對シ何市(町村)氏名ヨリ異議ノ申立テヲ  
ナシタルヲ以テ何月何日評議員ニ諮問ノ上左記ノ通決定シタリ



右告示ス

昭和何年何月何日 何市(町村)農會長 氏名

記

決	定	事	項	氏	名
會員タル資格ヲ有セス				何	某
本市町内ニ田畑何反歩ヲ所有シ無資格者ニアラス				何	某

◎選舉期日ニ關スル件

選舉期日ニ關シテハ法規並會則ニ於テ何等規定シタルモノ無之モ總代ハ三月末日ヲ以テ任期滿了スルニヨリ便宜之ヲ四月一日ト定メタリ

◎選舉告示ニ關スル件

昭和二年三月二十四日前ニ(會則第三十二條參照)夫々公告式ニ依リ選舉會場、投票ノ日時及選舉スヘキ總代數ヲ概ネ他ノ文例ニ依リ公告スヘキモノトス

公告第 號

本會總代ノ總選舉ヲ行フ其ノ選舉會場、投票ノ日時及選舉スヘキ總代數左ノ如シ

昭和二年三月二十四日農會長 氏名

記

- 一 選舉會場 町村大字 番地 本會事務所
- 二 投票ノ日時 昭和二年四月一日午前 時ヨリ午後 時迄
- 三 選舉スヘキ總代數 何人

◎投票用紙ニ關スル件

投票用紙ハ會長ノ定ムル處ニヨリ一定ノ式ヲ用フヘキモノニシテ其ノ式ハ公告式ニヨリ公告スヘキモノトス(會則第三十五條參照)

(雜形)

總代選舉指示事項

何市町村農會 總代選舉 用紙票	何市町村農會
-----------------------	--------

△注意 紙質ハ強クシテ裏面ヨリ透視シ能ハサルモノヲ用フヘシ左欄外ニ何市町村農會ノ印ヲ押捺スル事用紙ノ寸法ハ適宜トス

◎選舉立會人ノ選任ニ關スル件

會長ハ遅クモ選舉ノ前日迄ニ會員中ヨリ二人乃至四人ノ選舉立會人ヲ選任スヘキモノトス(會則第三十三條參照)此ノ選任ハ文書ヲ以テ爲シ且承諾書ヲ徴シ置クヲ可トス(様式)

昭和年 月 日 何市(町村)農會長氏名(印)

何 某 殿

選舉立會人選任通知

昭和年月日午前何時ヨリ執行スヘキ本市(町村)農會總代選舉ニ付キ貴殿ヲ右選舉立會人ニ選任致候ニ付乍御迷惑選舉當日投票開始三十分前投票所へ御出頭相成度此段及通知候也

尙立會人選任上及立會人ニ注意セシムヘキ事項次ノ如シ

- 一 立會人ハ投票ノ拒否及效力ヲ決定スヘキ職權ヲ有スル者ナルニ付之カ選任ヲ誤ラサル事(三人ヲ可トス)(會則第三十八條參照)
- 二 立會人ハ投票時刻三十分前迄ニ選舉會場ニ參集セシムル事
- 三 立會人ニハ印形ヲ持參セシムル事

◎投票函及選舉會場ニ關スル件

投票函ハ選舉期日前豫メ異狀ノ有無ヲ點檢シ投票實施上過誤ヲ生スルカ如キコトナキ様注意ヲ要ス選舉會場ノ設備ニ付テハ別ニ規定スル處ナシト雖モ概ネ左記事項ニ付注意スルヲ可トス

- 一 場外ヨリ場ノ内ヲ覗ヒ得サル様相當設備スルコト
- 二 會場ハ混雜ヲ來サ、ル様設備スルコト
- 三 投票記載所ハ絕對他人ノ覗ヒ得サル様相當設備スルコト
- 四 時計ハ完全正確ナルモノヲ用フルコト

◎選舉執行ノ件

(イ) 選舉管理者

一 會長ハ選舉管理者トナリ選舉會ヲ開催ス(會則第三十三條參照)

二 會長故障アルトキハ副會長ニ於テ選舉管理者ノ職務ヲ代理スヘキモノニ付注意ヲ要ス

(ロ) 選舉立會人

豫メ選任シタル立會人ニシテ指定ノ時限ニ來着セサルモノアルトキハ其ノ遲參ノ事由ヲ調査シ補缺ヲ要スルモノナルトキハ補缺選任ヲナシ又辭任ノ申出アリテ之ヲ正當ト認ムヘキモノナルトキハ之亦補缺選任ヲナスヘキモノトス  
前項立會人ニシテ補缺選任後參會スルモ交替セシメサルモノトス

(ハ) 選舉開始ノ宣言

投票時刻ニ至ラハ選舉管理者ハ選舉立會人ト共ニ投票ニ先チ選舉會場ニ參集シタル選舉人ノ面前ニ於テ投票函ヲ開キ其ノ空虛ナルコトヲ示シタル後蓋ヲ鎖シテ選舉管理者ノ面前ニ置クヘシ

(ニ) 選舉ハ單記無記名投票ヲ以テ之ヲ行ヒ投票ハ一人一票トス(會則第三十五條)選舉管理者ハ選舉人ノ相違ナキコトヲ確認シタル後投票用紙一枚ヲ交付スヘキモノトス

(ホ) 投票ノ拒否ハ選舉立會人之ヲ決定ス可否同數ナルトキハ選舉管理者ノ決スル處ニヨル(會則第三十八條參照)

(ヘ) 確定名簿ニ登録セラレタルモノ選舉權ヲ有セサルトキハ選舉ニ參與セシムルコトヲ得ス

(ト) 農會法施行規則第二十條第三項ニ依ル代理人カ選舉權ヲ行使セムトスルトキハ其ノ代理權ヲ證スル書面ヲ選舉管理者ニ提出スヘシ

(様式) 委任狀



拙者都合有之何某ヲ以テ代理人ト定メ左ノ權限ヲ委任ス

昭和年月日執行セラルヘキ何市(町村)農會總代選舉ニ關スル一切ノ件右委任狀件如

年 月 日 何郡市(町村)大字番地

何 某

(チ) 選舉管理者ハ投票時間ニ選舉會場ニ入りタル選舉人ノ全部投票終了ヲ俟テ選舉立會人ト共ニ投票函ヲ閉鎖スヘシ(會則第三十五條參照)

(リ) 選舉管理者ハ立會人立會ノ上投票函ヲ開キ投票ヲ點檢シ其ノ效力ハ立會人之ヲ決定ス但シ立會人ニ於テ可否同數ノ場合ハ選舉管理者之ヲ決スヘシ(會則第三十八條)

(ヌ) 左ノ投票ハ之ヲ無効トス

一 成規ノ用紙ヲ用ヒサルモノ

二 一投票中二人以上ノ被選舉人ノ氏名ヲ記載シタルモノ

三 被選舉人ノ何人タルカヲ確認シ難キモノ

四 被選舉權ナキ者ノ氏名ヲ記載シタルモノ

五 被選舉人ノ氏名ノ外他事ヲ記載シタルモノ但シ爵位職業身分住所又ハ敬稱ノ類ヲ記入シタルモノハ此ノ限ニアラス

◎當選者ニ關スル件

總代ノ選舉ハ有效投票ノ數多數ヲ得タルモノヲ以テ當選者トス但シ選舉スヘキ總代數ヲ以テ選舉人名簿ニ登錄セラレタル人員數ヲ除シテ得タル數ノ七分ノ一以上得票アルコトヲ要ス(會則第三十九條參照)  
當選者ヲ定ムルニ當リ得票ノ數同シキトキハ年長者ヲ取り年齡同シキトキハ選舉管理者抽籤シテ之ヲ定ムヘキモノトス

(イ) 當選通知  
當選者定マリタルトキハ市町村農會長ハ直ニ當選者ニ當選ノ旨ヲ通知スルモノトス其ノ文例概ネ左ノ如シ  
(様式)

昭和 年 月 日 何市(町村)農會長 氏名<sup>㊟</sup>  
當選人何某殿

當選通知

何月何日執行セル市(町村)農會總代選舉ノ結果貴殿當選相成候條此段及通知候也

備考

- 一 本通知ヲ交付シタルトキハ受領年月日ヲ記載シタル受書ヲ徴シ置クモノトス
- 二 當選者ノ當選辭任ハ當選通知ヲ受ケタル日ヨリ五日以内ニ會長ニ申立ツル規定ニ付注意スルコト(會則第四十一條參照)

◎選舉錄ニ關スル件

(イ) 選舉管理者ハ概略別記様式ニ依リ選舉ノ顛末ヲ記載シ選舉ヲ終リタル後之ヲ朗讀シ選舉立會人二人以上ト共ニ之ニ署名スルモノトス此ノ場合用紙數葉ニ互リタルトキハ相互ノ間ニ契印ヲ押捺スルヲ要ス

(ロ) 選舉錄ハ投票選舉人名簿其ノ他ノ關係書類ト共ニ選舉及當選ノ效力確定スルニ至ル迄之ヲ保存スヘキモノトス(會則第四十條參照)

◎當選ニ關スル件

會則第四十一條第二項ノ期間ヲ經過シタルトキハ會長ハ直ニ當選者ノ住所氏名ヲ公告スルモノトス  
(様式)

告示第 號 告 示  
年 月 日 日本市(町村)農會總代選舉ノ結果當選者ノ住所氏名左ノ如シ  
年 月 日 何市(町村)農會長 氏名<sup>㊟</sup>  
記

住	所	氏	名

△注意 會則ノ定ムル所ニヨリ當選者當選辭退ノ届出猶豫期日後告示スルコト

◎總代會ニ關スル件

市町村農會ニ於テ總代ノ確定シタル場合ハ速カニ總代會ヲ開催シテ役員(會長、副會長、評議員ヲ謂フ)議員及豫備議員ヲ選任スルヲ要ス特ニ現在ノ系統組織ニ於テハ此ノ總代會ニ於テ夫々選任後ニアラサレハ上級農會ハ之カ選任ニ關スル總會ノ招集不能ニ付此ノ點充分ノ注意ヲ加ヘ四月二十四、五日頃ニハ何レモ總代會ヲ開催スル様致度之カ爲メニハ概ネ左ノ諸點ニ關シ注意ヲ要ス

一 總代會ヲ招集セムトスルトキハ會長ハ少クトモ七日前ニ書面ヲ以テ會議ノ目的タル事項、日時及場所ヲ總代會ヲ組織スル者ニ(會長、副會長、總代)通知スルヲ要スルニ依リ四月二十四日ニ總代會ヲ開催セントスルトキハ同月十六日前ニ招集スルヲ要ス(會則第五十條參照)

二 從來ノ事例ヲ見ルニ評議員カ會長又ハ副會長ヲ兼ネタルモノ尠カラサルモ右ハ其ノ性質上妥當ナラサルモノニ付注意ヲ要ス

三 議員及豫備議員ノ選任ハ農會法第十七條、第十八條ノ規定ニ依リ必ス選出農會ノ役員タラサルヘカラス然ルニ往々右ノ資格ヲ缺キ議決ノ效力ヲ疑ハシムルモノアリタルニ依リ相當注意ヲ要ス  
右ハ總會ヲ設クル農會ニ於テモ之ニ依ラレ度シ

◎役員選任報告方ノ件

都市町村農會ニ於テ役員ノ選任ヲ了シタルトキハ農會法施行規則第三十六條ニ依リ遲滯ナク其ノ旨道府縣ヘ報告可相成答ノ處右ハ選舉ニ關スル記録寫ト共ニ左記様式ヲ以テ報告セラレ度シ

記

役名	氏名	職業	經歷	住所	生年月日	年報酬	備考
會長		地主	甲種農業	大字			
副會長		自作	學校卒業	番地			
評議員			現村長等				
豫備議員							

備考

議員及豫備議員ハ役員ニ非ルモ便宜選出農會ニ於テ本様式中ニ掲載報告相成度

◎選舉費用ニ關スル件

郡島農會ニ於テハ役員議員及豫備議員選任ニ關スル臨時總會ヲ市町村農會ニ於テハ總代選舉會並役員議員及豫備議員選任ニ關スル臨時總會ニ夫々明年度ニ於テ開催ニ付之ニ件フ費用ハ昭和二年度豫算ニ計上ヲ要スル次第ニ付注意置相成度

◎總代選舉錄様式 (模範會則ニ依ル)



セリ

十五 選舉管理者ハ選舉立會人ト共ニ投票ヲ點檢シタリ

十六 選舉管理者ハ事務員某ヲシテ投票ニ記載シアル氏名ヲ朗讀シ事務員某ヲシテ各別ニ投票ヲ得タル各被選舉人ノ得點ヲ點數簿ニ記入セシメタリ

十七 有效又ハ無效ト決定シタル投票左ノ如シ

1 有效 票

2 無效 票

内成規ノ用紙ヲ用ヒサルモノ

一投票中二人以上ノ被選舉人ヲ記載シタルモノ

何々

票 票 票

十八 被選舉人ノ得タル有效投票左ノ如シ

何票 氏名

何票 氏名

十九 總代定數何名ヲ以テ選舉人名簿ニ登錄セラレタル人員數何名ヲ除シテ得タル數ハ幾何ニシテ此ノ七分ノ一

ノ數ハ幾何ナリ被選舉人中得票數此ノ數以上ニ達シタルモノ左ノ如シ

何票 氏名

右ノ内最多數ヲ得タル左ノ何名ヲ以テ當選者トス

何票 氏名

何票 氏名

二十 但シ某、某ハ得票數同シキモ某ハ 年 月 日生某ハ 年 月 日生ニシテ某ノ年長者ナル

ヲ以テ當選者ト定メタリ(但シ某及某ハ得票數同シク且ツ某及某ハ 年 月 日生ニシテ年齡相同シキ

ヲ以テ選舉管理者抽籤シタルニ某當選セリ由テ某ヲ當選者ト定メタリ

二十一 何時選舉管理者ハ有效無效ノ投票ヲ區別シ選舉立會人ト共ニ之ヲ封印シタリ

二十二 選舉場ニ臨監シタルモノ左ノ如シ

官職 氏名

二十三 右ノ外管理者ニ於テ必要ト認メタル事項

二十四 何時選舉會ヲ閉ツ

選舉管理者ハ此ノ選舉錄ヲ調製シ之ヲ朗讀シタル上選舉立會人ト共ニ茲ニ署名ス

年 月 日 選舉管理者 役名 氏名

選舉立會人 氏名

同 前 氏名

總代選舉指事

質 疑 應 答

一七八

問 總代選舉ニ付不正行為アリタルトキノ刑罰如何

答 農會ハ公法人ニシテ其ノ選舉ハ公選ナリトシテ舊刑法公選ノ投票ヲ偽造スル罪トシテ罰セラルルコトアルヘ

シ  
條文參照(刑法施行法第二十五條ニ依リ舊刑法中以下四條ノ公選ノ投票ヲ偽造スル罪ハ其ノ效力ヲ有ス)

〔參照〕

第二百三十三條 公選ノ投票ヲ偽造シ又ハ其ノ數ヲ増減シタル者ハ一月以上一年以下(輕禁錮)ニ處シ(二圓以  
上二十圓以下ノ罰金ヲ附加)ス

第二百三十四條 賄賂ヲ以テ投票ヲ爲サシメ又ハ賄賂ヲ受ケテ投票ヲ爲シタル者ハ二月以上二年以下ノ(輕禁  
錮)ニ處シ(三圓以上三十圓以下ノ罰金ヲ附加)ス

第二百三十五條 投票ヲ檢査シ及其ノ數ヲ計算スル者其ノ投票ヲ偽造シ又ハ増減シタルトキハ六月以上三年以  
下ノ(輕禁錮)ニ處シ(四圓以上四十圓以下ノ罰金ヲ附加)ス

第二百三十六條 調書ヲ造リ投票ノ結局ヲ報告スル者其ノ數ヲ増減シ其ノ他詐欺ノ所爲アル時ハ一年以上五年  
以下ノ(輕禁錮)ニ處シ(五圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加)ス

問 農會法施行規則第二十條第三項ノ規定ニ基キ代理人ノ行使スヘキ投票數ハ之ヲ相當(五箇以下)ニ制限スルコ

トヲ町村農會會則ニ規定セシメ差支ナキ哉

前項ノ制限ヲ附スルヲ可ナリトスルトキハ農會法施行細則(縣令)中ニ規定シ差支ナキ哉(昭和六年二月五日  
島根縣知事)

答 施行規則第二條第一項ノ代理人ノ代理スヘキ數ヲ縣施行細則又ハ會則ヲ以テ制限スルコトヲ得ルモ右ノ制限  
ナクシテ施行規則第二十條第三項ノ代理選舉權ノミ制限スルヲ得ス即チ施行規則第二條第一項ノ制限アルニ  
依リ當然同第二十條第三項ハ制限ヲ受クヘシ

問 選舉人名簿確定期日迄ニ届出ツル代理人ニアラサレハ選舉ヲ行フ代理權ヲ有セサル旨規定シ得ルヤ(昭和五  
年十二月十二日福岡縣知事)

答 縣施行細則又ハ會則ヲ以テ適當期日以後ノ選舉代理人ノ變更ヲ禁スルコトハ差支ナシ(昭和五年十二月十六  
日農務局長)

質 疑 應 答

一七九



各級農會會則ニ關スル帝國農會ノ通牒

一 大正十二年三月三十一日ヲ以テ任期滿了セサル役員及議員豫備議員ノ任期ハ此ノ際是非該期日ニテ滿了スル様會則ヲ變更セラレタシ其方法ハ現行農會令第九條及第十一條末項ニヨリ現行會則中ニ規定セラレタル役員及豫備議員ノ任期ノ條項ヘ「但シ大正十一年十二月三十一日現在ノ役員(議員)ニ限リ其ノ任期ハ大正十二年三月三十一日迄トス」ト附加シタル變更ヲ總會ニ於テ決議シ行政官廳ノ認可ヲ受クルナリ尙十二年一月一日ヨリ施行スル會則ニ於テ之カ任期ヲ一定スヘク伸縮スルハ改正法令ニ牴觸スルヲ以テ是非年内ニ御配慮相成度候

二 大正十二年一月一日ヨリ總代選舉ノ準備ニ着手セハ凡ソ三月上旬ニ之レカ實施ヲ見ルヘク而シテ此ノ選舉セラレタル總代ハ四月一日ヨリ事業年度ニ從ヒ向フ四ヶ年間ノ任期アルモノナレハ三月三十一日迄ハ未タ總代會ヲ開ク能ハス爲メニ役員及上級農會ノ議員、豫備議員ノ選舉ハ行ハレ難シ故ニ若シ三月中旬ト雖モ總代ノ權能ヲシテ有效ナラシメムニハ市町村農會準則第四十七條ニ但書トシテ「第一回ノ總代ノ任期ハ大正十六年三月三十一日迄トス」ト附加規定セラレハ差支ナシ而シテ尙一月一日ヨリ總代ヲ選舉スル迄事實上其ノ農會ノ意思表示機關ナシ故ニ市町村農會會則ノ附則ニ第一回總代選舉ヲ終ル迄ハ從來ノ會則ニ依ル總代會ニ代ルコト」ト規定セラレタシ

三 總代選舉人名簿ニ會員名簿ヲ充當セラルルモ差支ナシ

四 道府縣郡農會ニシテ帝國農會ニ於テ規定シタル農會職員退職死亡給與金規程ニ加入セララルトキハ會則ニ左

ノ如ク規定セラレタシ

「第二十四條職員退職又ハ死亡シタルトキハ退職給與金又ハ死亡給與金ヲ支給ス

退職給與金及死亡給與金ニ關シテハ帝國農會ニ於テ規定シタル農會職員退職死亡給與規程ニ加入ス」

五 市町村農會ノ總代ノ選舉並ニ各級農會ノ總會ハ凡ソ左記ニヨリ之ヲ實施セラレムコトヲ希望ス

總代ノ選舉ハ遅クモ四月上旬迄

市町村農會總會又ハ總代會ハ四月中

郡農會ハ五月中

道府縣農會總會ハ六、七月中

凡ソ右ノ如クニシテ其ノ農會ノ役員並上級農會ノ議員豫備議員ヲ選出スルコト

以上 (大正一一、一一、二八帝農發二〇四通牒)

昭和六年三月廿五日印刷  
昭和六年三月廿八日發行

### 農林省農務局編纂

發行者 帝國農會

右代表者 增田昇一

印刷者 石井精一郎  
東京市京橋區岡崎町二丁目三十番地

印刷所 安信舍印刷所  
東京市京橋區岡崎町二丁目三十番地

東京市麴町區丸ノ内三丁目一番地

發行所 帝國農會

電話丸ノ内三九三〇、三九三一、三九三二

東京市神田區大塚三丁目一番地  
東京市神田區大塚三丁目一番地  
東京市神田區大塚三丁目一番地

東京市神田區大塚三丁目一番地

東京市神田區大塚三丁目一番地

東京市神田區大塚三丁目一番地

東京市神田區大塚三丁目一番地

東京市神田區大塚三丁目一番地

東京市神田區大塚三丁目一番地

PATENTED NO. 119016  
 CAT. NO. 854  
 "F-M"  
**PAMPHLET BINDERS**  
 are carried in stock in the following sizes

Catalog No.	High	Wide	Thick
851 (菊倍)	30. cm.	x 22.5 cm.	x 1 cm.
852 (四六倍)	26. "	x 18.5 "	x 1 "
853 (菊)	22.5 "	x 15. "	x 1 "
854 (四六)	18.5 "	x 12.5 "	x 1 "
855 (特)	24. "	x 15. "	x 1 "

Special sizes are made to order  
*Library Supplies in All Kinds*  
**F. MAMIYA & CO**  
 OSAKA-TOKYO-FUKUOKA